安全上のご注意

表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表示の例

⚠ 記号は注意を促す内容があることを告げるものです。

⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。

⃠ の中に具体的な禁止内容が描かれています。
（左図の場合は、“ 分解禁止 ” を表します）

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

●の中に具体的な指示内容が描かれています（左図の場合は、“ アースを接続してください ” を表します）。

⚠警告

・ アース接続してください。アース接続がされないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。アース接続がコンセントのアース端子にできない場合は、接地工事を販売店またはサービス実施店に相談してください。

・ 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。

・ 延長コードの使用は避けてください。

・ 電源コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重い物を載せたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災や感電の原因になります。

・ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

本製品を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

・機械は電源コンセントにできるだけ近い位置に設置し、異常時に電源プラグを容易に外せるようにしてください。

・本書で指定している部分以外のカバーやねじは外さないでください。機械内部には電圧の高い部分やレーザーを使用している機器の場合はレーザー光源があり、感電や失明の原因になります。機械内部の点検・調整・修理はサービス実施店に依頼してください。

・この機械を改造しないでください。火災や感電の原因になります。また、レーザーを使用している機器の場合はレーザー光線による被爆の恐れやレーザー光洩れにより失明の恐れがあります。

・万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態が見られる場合は、すぐにメインスイッチ（機種によってはバックアップスイッチを含みます）を切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。そしてサービス実施店に連絡してください。機械が故障したり不具合のまま使用し続けないでください。

・万一、金属、水、液体などの異物が機械内部に入った場合は、まずメインスイッチ（機種によってはバックアップスイッチを含みます）を切り、電源プラグをコンセントから抜いてサービス実施店に連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

・この機械の上に花瓶、植木鉢、コップ、水などの入った容器または金属物を置かないでください。機械の上に置いたものがこぼれたり、機械の中に入った場合、火災や感電の原因になります。

⚠注意

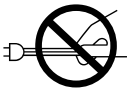
・湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。

・ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因になります。

・機械を移動するとき、必ず左右 2 箇所の移動用取っ手を持ち、キャスターロックを外してから移動してください。取っ手以外の部分に手をかけると指をはさむなど、けがの原因になります。

・機械を移動したらキャスター留めをするなど固定してください。動いたり、倒れたりして、けがの原因になります。

本製品を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

	・機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。 ・連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
	・電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。
	・狭い部屋で長時間連続してご使用になるときは、換気にご注意ください。
	・この機械の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因になります。

お願い

●電波障害について

他のエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に、近くにテレビやラジオがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は、次のようにしてください。

・テレビやラジオからできるだけ離す
・テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える
・コンセントを別にする

■電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置など電波障害自主規制協会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、商工業地域で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

目次

安全上のご注意 1

目次 4

1 各部の名称とはたらき 6

■本体正面 6

■本体背面 7

■本体端子部 8

■コントロールパネル 10

■ワイヤレスリモコン 11

2 使用前の準備 12

■本機の据付方法 12

■ワイヤレスリモコンの取り扱い 13

■タッチパネルコントローラの電源接続 14

■主電源の接続 15

■パソコンの接続方法 16

■キーボードやスキャナーの設置 18

■他の機器の接続方法 19

3 使用方法 21

■本機の電源の入／切について 21

■主電源スイッチの入れ方 21

■電源のスタンバイ／ON 22

■主電源スイッチの切り方 22

■タッチパネルの使用方法 23

■映像の切り替え 24

■音量の調整 25

■パソコン映像とビデオ映像の同時表示 25

■マイクの接続 26

■ワイヤレスリモコンの使用範囲 26

4 使用上の注意 27

5 異常時の処置 28

6 修理を依頼する前に 29
■現象による状態チェックと処置 29
■インジケーターによる状態チェックと処置 31
7 お手入れ 34
■外装のお手入れ 34
■タッチパネルのお手入れ 34
■内部の掃除 34
■吸気フィルタの清掃 34
■光源ランプの交換 35
8 アフターサービスについて 36
9 仕様 37
■製品仕様 37
■外形寸法図 38
■設置スペース 39
10 メニューの使い方 40
■メニュー階層図 40
■メニューの基本操作 41
■メニューの設定のしかた 42
■画像メニュー 45
■オーディオメニュー 48
■設置メニュー 49
■オプションメニュー 50
■信号設定メニュー 51
■信号設定の詳細メニュー 53
11 技術情報 54
■パソコン映像の調整のしかた 54
■パソコンから本機の機能を制御する 57
■タッチパネル制御ソフトウエアのインストール 64
索引 77

1 各部の名称とはたらき

■本体正面

タッチパネル付き
52 **インチスクリーン**

指または付属のペンでタッチして、入力できます。

キーボードテーブル（P.18）

テーブルを手前に引き出して、パソコンのキーボードやスキャナーなどを置いて、操作することができます。

フロント端子部（P.8）

カバーを開けると、パソコンやビデオの外部機器を接続する入力端子があります。

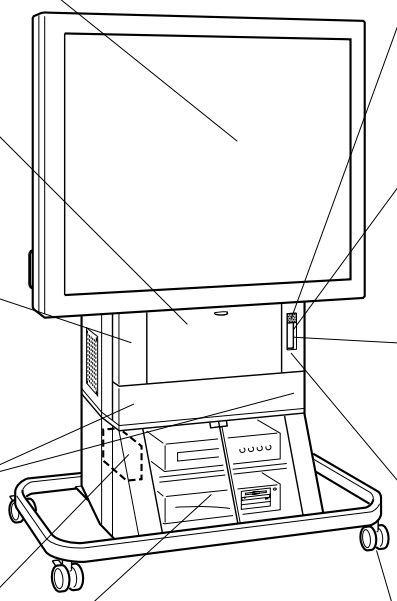
スピーカー

本機の音声入力端子より入力された音声を出力します。

タッチパネルコントローラ（P.14）

ビデオ・パソコン収納部

格納部上段にビデオを、格納部下段にパソコン本体を収納します。



主電源スイッチ（P.21）

本機の主電源スイッチを入／切にします。また、本機に接続された他の機器の電源も連動します。

タッチパネル
リセットスイッチ（P.23）

スクリーンのタッチパネル機能が正常に動作しない場合にこのスイッチを押します。

インジケーター部（P.31）

本機の状態を知らせるインジケーターで、電源インジケーター、ランプインジケーター、温度インジケーターがあります。

コントロールパネル部
（P.10）

カバーを開けると、インジケーター、そして音量調節、入力機器切り替え、映像自動調整を行うボタンがあります。

ロック付きキャスター

移動時以外は、必ずキャスターをロックしておきます。

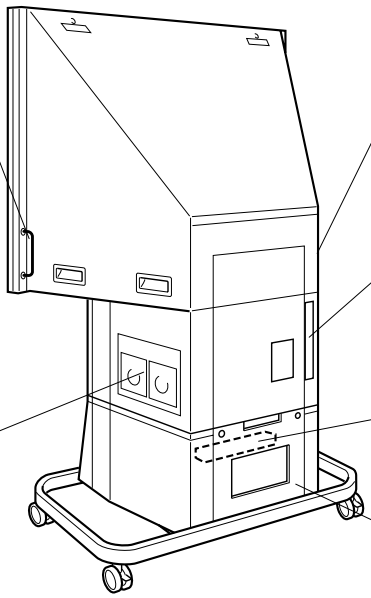
■本体背面

移動用取っ手

移動する際は、必ず両側の取っ手を 1 名ずつで持って、計 2 名以上で行います。

排気ファン

スクリーン内部にこもった熱気を排気します。



吸気口

光源部を冷却するための空気取り入れ口です。
背面に向かって、右側面にあります。

リア端子部（P.9）

ビデオやパソコンのモニタなどを接続できます。

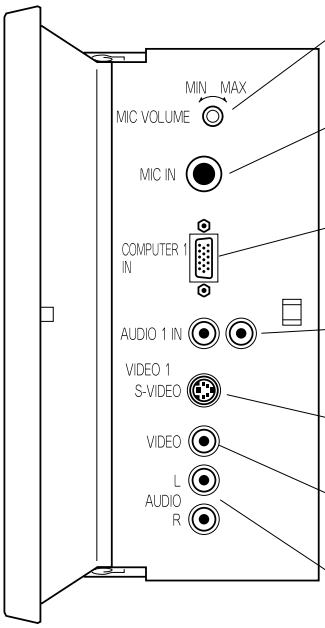
電源タップ（P. 15）

各機器の電源はここから供給されます。

バックカバー

■本体端子部

●フロント端子



MIC VOLUME

マイクから入力された音量を調整します。

MIC IN

マイクの入力端子です。

COMPUTER 1 IN

パソコンの映像信号を入力する端子です。

AUDIO 1 IN

パソコンの音声の入力端子です。

S-VIDEO

S ビデオ映像の入力端子です。

VIDEO

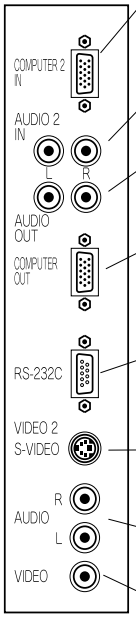
ビデオ映像の入力端子です。

AUDIO (R/L)

ビデオ音声の入力端子です。

パソコンの接続については「■パソコンの接続方法」（P.16）を、ビデオの接続については「■他の機器の接続方法」（P.19）を参照してください。

●リア端子



COMPUTER 2 IN

パソコンの映像信号を入力する端子です。

AUDIO 2 IN (R/L)

パソコンの音声の入力端子です。

AUDIO OUT (R/L)

パソコンの音声の出力端子です。

COMPUTER OUT

パソコンの映像信号を出力する端子です。

RS-232C

パソコンから本機の機能を制御するときに使用する、RS-232C**端子です。**

S-VIDEO

S **ビデオ映像の入力端子です。**

AUDIO (R/L)

ビデオ音声の入力端子です。

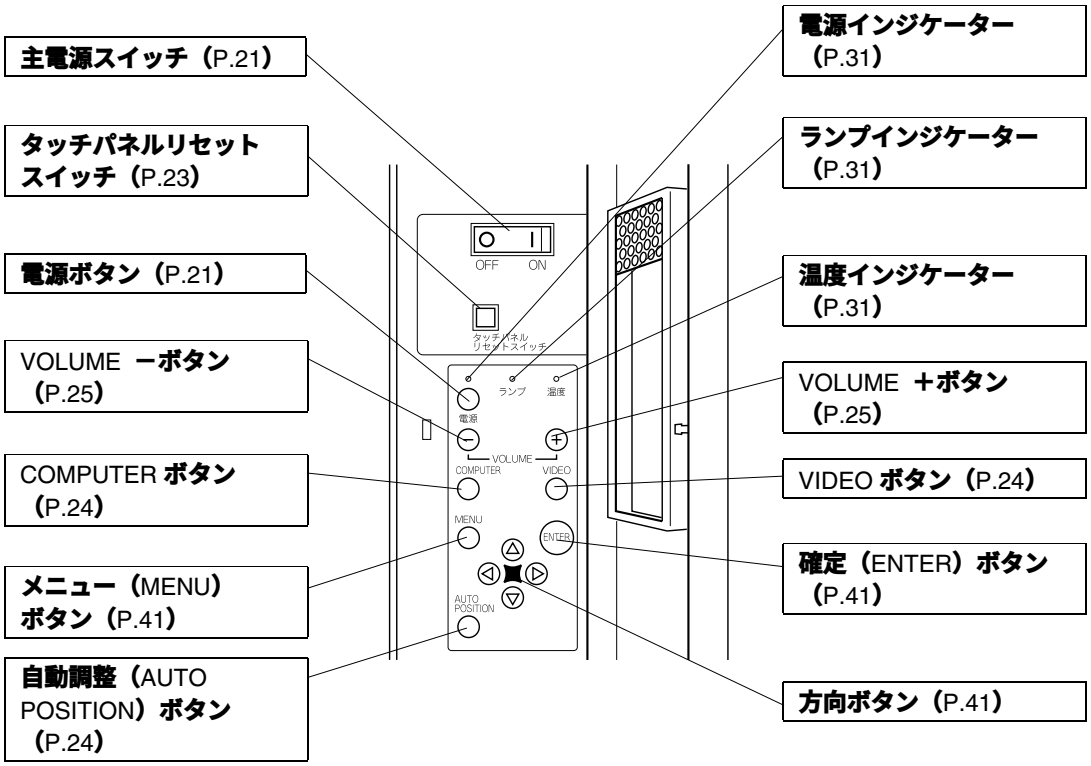
VIDEO

ビデオ映像の入力端子です。

パソコンの接続については「■パソコンの接続方法」（P.16）を、ビデオの接続については「■他の機器の接続方法」（P.19）を参照してください。

■コントロールパネル

インジケーター部のカバーを開けると、コントロールパネルがあります。コントロールパネルでは、音量調節、入力機器の切り替え、映像の自動調整を行うことができます。
お手元にワイヤレスリモコンがない場合でも、直接操作することができます。
例えば、プレゼンテーションなどスクリーンの両端に立って説明しているときなど、コントロールパネルを使用すると便利です。
操作方法は、各ボタン名の後ろにあるページを参照してください。



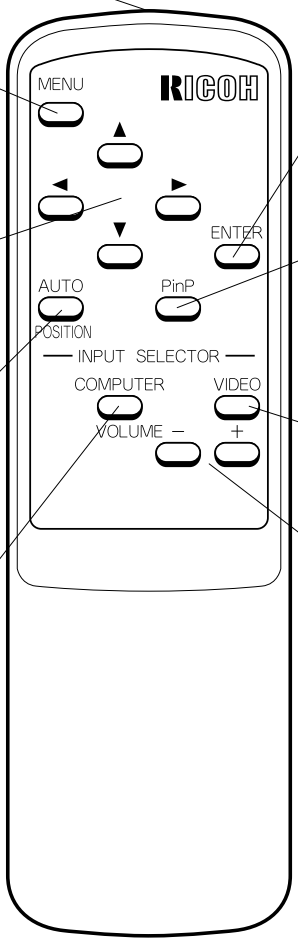
補　足

本書では、本機インジケーター内の操作パネルのことをコントロールパネルと呼んでいます。以降、コントロールパネルとは、本機の操作パネルのことを指します。
ただし、「■タッチパネル制御ソフトウエアのインストール」（P.64）で記載されているコントロールパネルは、Windows のコントロールパネルのことを指しています。

■ワイヤレスリモコン

重 要

ワイヤレスリモコンは、ディスプレイに向けて操作してください。



リモコン発光部

メニュー（MENU）ボタン（P.41）

スクリーンの画質や表示、スピーカーの音量などを設定するためのメニューを表示します。

方向ボタン（P.41）

メニュー項目を選択するときに使用します。

自動調整（AUTO POSITION）ボタン（P.24）

パソコンの映像がずれているときに押します。

COMPUTER **ボタン（P.24）**

本機に接続されているパソコンの映像を見るときに押します。

確定（ENTER）ボタン（P.41）

メニューで設定した内容を確定します。

PinP **ボタン（P.25）**

パソコンの映像を表示させたまま、ビデオの映像を表示するときに押します。

VIDEO **ボタン（P.24）**

本機に接続されているビデオの映像を見るときに押します。

VOLUME-**音量ボタン（P.25）**

スピーカーの音量を大きく、または小さくするときに押します。

2 使用前の準備

■本機の据付方法

●開梱・設置

本機の質量（重量）は、約 155kg あります。お客様が開梱・設置を行うと倒れたりして、けがの原因となりますので、開梱・設置は最寄りの販売店へご依頼ください。

●据付場所・運搬

本機の質量（重量）は、約 155kg あります。倒してけがの原因とならないよう、またスクリーンの内部に水分やほこりなどが入ったり、内部の温度が上昇して火災・感電の原因とならないよう、次の警告と注意をよくお読みになり据付・運搬してください。

⚠警告

・傾いた所など不安定な場所に置かないでください。
・本機の背面右側に排気ファンがあります。通風孔をふさがないように据付けてください。
・風通しの悪い狭い場所に置かないでください。

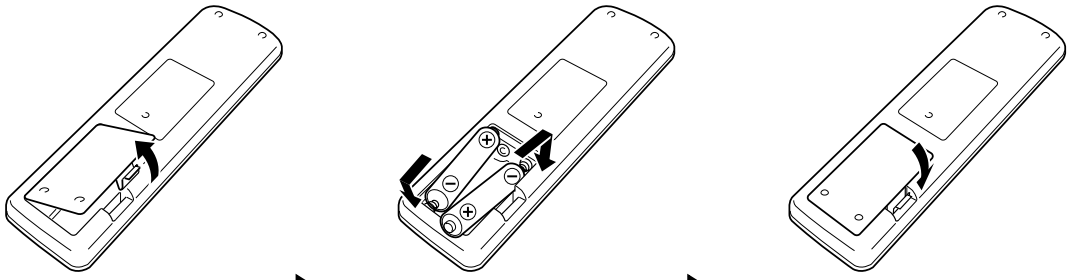
⚠注意

・運搬は 2 人以上で、必ず移動用取っ手を持ち、キャスターのロックを外してから運搬してください。
・据付位置が決まったら、キャスターは必ずロックしてください。
・湿気やほこりの多い所に置かないでください。
・油煙や湯気が当たるような所に置かないでください。
・直射日光が当たる所や熱器具の近くに置かないでください。

■ワイヤレスリモコンの取り扱い

●電池の入れ方

ワイヤレスリモコンに付属の単 3 形乾電池を 2 個入れます。
電池を交換する場合も以下の手順を参考にしてください。



1. フタのつまみに指をかけ、矢印の方向に持ち上げるように、フタを外します。
2. 電池の＋/－の向きを、表示とおりに正しく入れます。
3. フタを、矢印の方向に押して閉めます。

⚠注意

＜乾電池の使用上のご注意＞

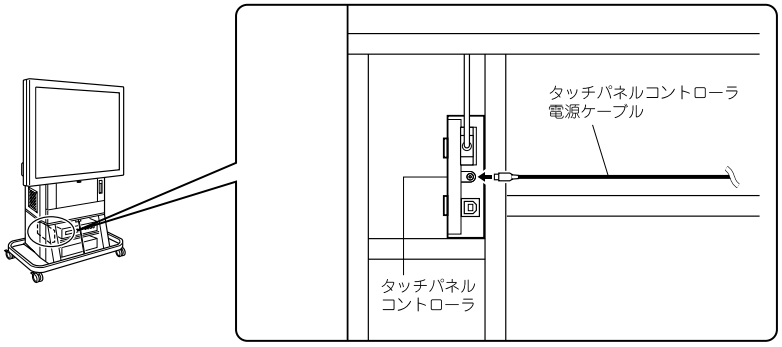
- 指定以外の電池は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 電池をワイヤレスリモコン内に挿入する場合は、＋と－の向きに注意し、ワイヤレスリモコンの表示とおりに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

●ワイヤレスリモコン使用上のご注意

・ワイヤレスリモコンを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
・ワイヤレスリモコンに水をかけたり、濡れたものの上に置いたりしないでください。故障の原因になります。
・ワイヤレスリモコンを長時間ご使用にならない場合は、乾電池をワイヤレスリモコンから取り出しておいてください。
・乾電池の寿命は約 1 年です（ご使用の状態によって電池の寿命は変わります）。
・ワイヤレスリモコンが動作しなくなったり、操作できる距離が短くなったりしたときは、2 個とも新しい乾電池に交換してください。
・本機のリモコン受光部に直射日光などの強い光があたると、ワイヤレスリモコンで本機を操作できなくなることがあります。本機を使用する際は、光がリモコン受光部に直接当たらないように、ブラインドで遮光したり、本機の向きを変えたりしてください。

■タッチパネルコントローラの電源接続

本機のパソコン・ビデオ収納部の左側上段にあるタッチパネルコントローラに、付属の電源ケーブルを接続します。続いて、タッチパネルコントローラの AC アダプタを、本機背面の電源タップに接続します。



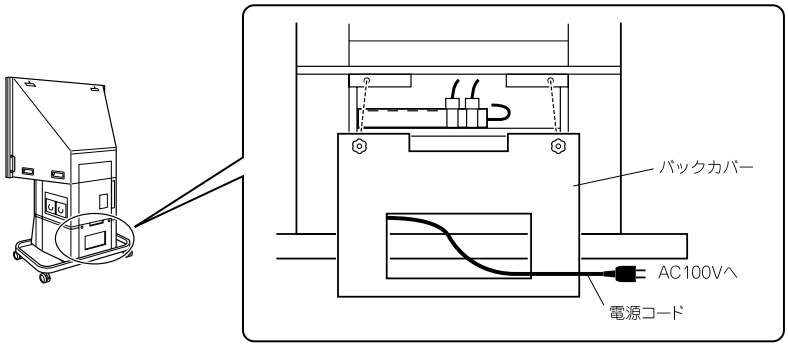
■主電源の接続

⚠警告

表示された電源電圧以外で使用しないでください。

重 要

火災・感電の原因となります。電波障害防止のために電源コードは、接地極付コンセントに接続してください。



1. 本機電源タップの電源コードを、バックカバーの下部の穴から引き出せるようにして、バックカバーを本機に取り付けます。
2. 電源タップの電源プラグを AC100V 電源コンセントに差し込みます。

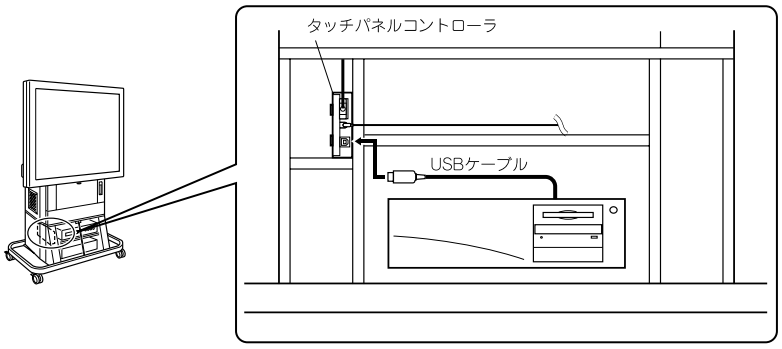
■パソコンの接続方法

パソコンは本機パソコン収納部に設置し、ケーブル類はリア端子に接続します。配線は、本体背面のバックカバーを外して行います。
2 台目のパソコンを使用する場合は、フロント端子に接続します。ただし、パソコンを設置する場所やテーブルなどを用意してください。接続は、以下の方法と同様に接続することができます。

重 要

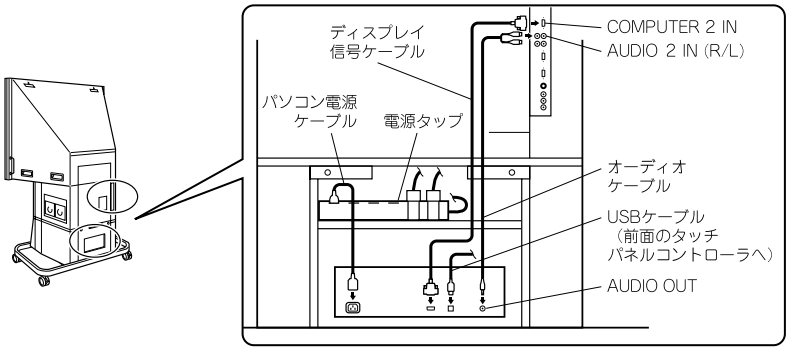
- パソコンを接続する前に、本機そして接続する入力および出力機器の電源を切ってください。また、接続するパソコンの取扱説明書もご覧ください。
- 電源タップに接続する機器は、総容量 1,000W 以下でお使いください。

1. 本機の主電源スイッチを切り、電源タップの電源プラグをコンセントから抜きます。
2. 本機のパソコン収納部にパソコンを設置します。
3. 付属の USB ケーブルを、タッチパネルコントローラとパソコンの USB 端子に接続します。

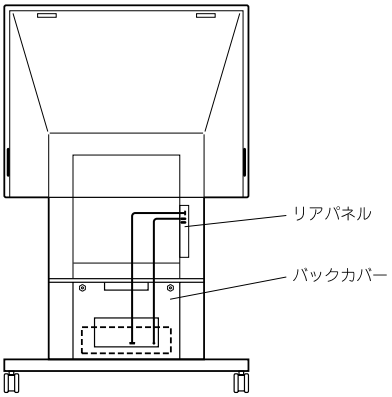


4. 付属のディスプレイ信号ケーブルを、パソコンのディスプレイコネクタ（ミニ D-SUB メス 15 ピン）と、本機のリア端子部の COMPUTER 2 IN に接続します。
（フロント端子に接続する場合は、COMPUTER 1 IN）
5. 付属のオーディオケーブルを、パソコンの AUDIO OUT と、本機のリア端子部の AUDIO（または AUDIO 2 IN）に接続します。
（フロント端子に接続する場合は、AUDIO または AUDIO 1 IN）

6. パソコンの電源ケーブルを本機の電源タップに接続します（これにより本機の主電源に連動します）。
（フロント端子に接続する場合は、電源ケーブルを電源コンセントに差し込みます。）



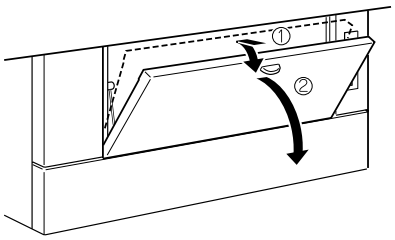
7. バックカバーを取り付けます。
ケーブル類は、バックカバー上部の切欠から出るようにします。



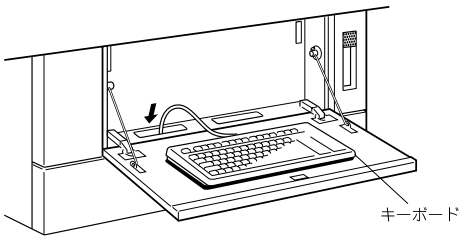
■キーボードやスキャナーの設置

タッチパネルスクリーン部の下にあるカバー（テーブル）を開くと、キーボードやスキャナーなどを置くことができます。

1. カバー（テーブル）の取っ手の部分を押します（①）。
2. 取っ手を引いて、カバー（テーブル）を開きます（②）。



3. テーブルにキーボードやスキャナーを置きます。
4. キーボードやスキャナーなどのケーブルを、開いたテーブル奥にある 2 つの穴のどちらかに入れます。



5. パソコン収納部のパソコンにケーブルを接続します。

⚠注意

・テーブルには 10kg 以上の機器や物を載せないでください。また、手や肘なども載せないでください。

■他の機器の接続方法

ビデオは本機ビデオ収納部に設置し、ケーブル類はリア端子に接続します。配線は、本体背面のバックカバーを外して行います。
2 台目のビデオを使用する場合は、フロント端子に接続します。ただし、ビデオを設置する場所やテーブルなどを用意してください。接続は、以下の接続例を参照してください。

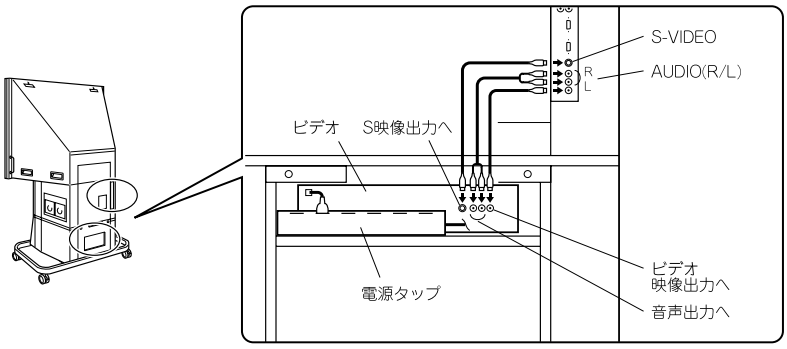
重　要

- 他の機器を接続する前に、本機そして接続する入力および出力機器の電源を切ってください。また、接続す機器の取扱説明書もご覧ください。
- 電源タップに接続する機器は、総容量 1,000W 以下でお使いください。

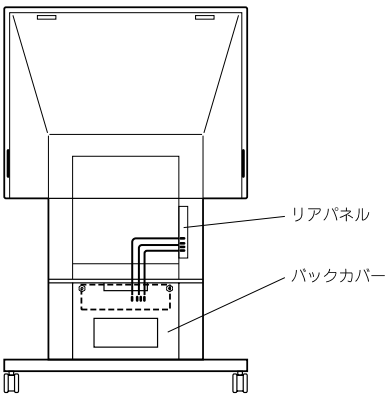
補　足

- VIDEO 端子と S-VIDEO 端子は、自動的に信号の有無を判別します。ただし、両方の端子に接続した場合、S-VIDEO 端子の信号が優先されます。また、S-VIDEO 端子はフロント端子とリア端子部にありますが、両方の端子に接続した場合は、フロント端子の信号が優先されます。
- ビデオ機器を VIDEO 端子でご利用になる場合、映像が乱れることがあります。ビデオ機器は S-VIDEO 端子でご利用になることをお薦めします。

［接続例］



ケーブル類は、バックカバー上部の切欠から出るようにします。



3 使用方法

■本機の電源の入／切について

本機の電源は、本機に電源を供給する「主電源スイッチ」と、その電源のスタンバイ／ONを切り替えるコントロールパネルの「電源ボタン」で、電源の入／切を操作します。
例えば、朝の始業時に主電源スイッチを入れておいて、日中の作業で本機を使用する場合にコントロールパネルの電源ボタンで電源を入／切にします。そして、終業時に主電源スイッチを切るというように使用します。

■主電源スイッチの入れ方

本機を最初に使用するときは、主電源スイッチを入れます。主電源スイッチを入れた後は、コントロールパネルの電源ボタンで電源の入／切を行います。主電源スイッチを入れると、電源タップに接続された機器が連動して入になり、使用できるようになります。
主電源スイッチを入れた直後は、スクリーンが暗く見えます。これは、光源ランプのウォームアップのためで故障ではありません。
次の手順で電源を入れます。

1. 本機に接続された機器の電源スイッチを入れます。
2. 本機の主電源スイッチを入れます。
   電源インジケーターが緑に点灯し、ランプインジケーターが緑で点滅します。
   この状態では、電源ボタンで入／切の操作はできません。

   補　足

   このとき、画質などを調節するメニューで設置メニューの「オートパワーオン」項目が「OFF」に設定されていると、スタンバイ状態となります。この場合は、コントロールパネルの電源ボタンを押してください。

   約 1 分後、ランプインジケーターが緑で点灯して、本機が使用できる状態になります。

■電源のスタンバイ／ON

主電源が入の状態になっているとき、コントロールパネルの電源ボタンで本機の電源のスタンバイ／ON ができます。

電源のスタンバイ／ON を行うと、電源ボタンが次のように点灯し、本機の状態と収納部内にある電源タップの通電状態を知らせます。

電源の状態	電源インジケーターの表示	本機の状態	電源タップの状態
電源が入のとき	緑色の点灯	ディスプレイ ON	AC 電源が入の状態
スタンバイ状態のとき	赤色の点灯	ディスプレイ OFF	AC 電源が切の状態

⚠注意

・Windows パソコンが接続されていて、Windows を起動している場合で、電源をスタンバイ状態にするときは、必ず Windows の終了を行い、「コンピュータの電源を切る準備ができました」が表示されていること、またはパソコンのパワーランプなどで電源が切られていることを確認してください。この作業を行わないと、パソコンの故障またはデータ破壊の原因になることがあります。

■主電源スイッチの切り方

本機で作業が終了したら、主電源スイッチを切ります。
接続された各機器の電源がオンの状態のまま、コントロールパネルの電源ボタンを 2 回押してスタンバイ状態にすると、各機器が連動して、オフになります。
次の注意をよく読んで、次ページの手順とおりに電源を切ります。

⚠注意

・Windows パソコンが接続されていて、Windows を起動している場合は、必ず Windows の終了を行い、「コンピュータの電源を切る準備ができました」が表示されていること、またはパソコンのパワーランプなどで電源が切られていることを確認してから、主電源スイッチを切ってください。この作業を行わないと、パソコンの故障またはデータ破壊の原因になることがあります。
・コントロールパネルの電源ボタンを押した直後に、主電源スイッチを切らないでください。必ず、次ページの電源の切り方の手順に従ってください。光源ランプの寿命を著しく縮めることになります。

・主電源スイッチを切った直後に電源を入れると、映像がスクリーンに表示されるまで 1 分間ほどかかる場合があります。

1. パソコンが接続されている場合は、オペレーティングシステムを終了し、電源を切っておきます。
2. コントロールパネルの電源ボタンを押します。
   スクリーンに、「POWER OFF? YES:PRESS AGAIN」のメッセージが表示されます。
   電源を切らない場合は、電源ボタン以外のボタンを押します。
3. コントロールパネルの電源ボタンをもう一度押します。
   光源ランプが消灯します。
   また、ランプインジケーターが点滅し、電源インジケーターが点灯します。
4. 2 分間、そのまま待ちます。
   2 分後、排気ファンが止まります。
5. ランプインジケーターが消灯したら、主電源スイッチを切ります。
   電源インジケーターが消灯します。

重 要

・主電源スイッチを切った直後に電源を入れると、映像がスクリーンに表示されるまで数分間ほどかかる場合があります。

■タッチパネルの使用方法

タッチパネルを指で操作する場合は、指の腹をスクリーンに押し当てるようにします。指の側面は使用しないでください。押しても認識されないことがあります。また、指を当てる強弱によっては機能を実行できないこともあります。その場合は、もう少し指を強く押してみてください。

●タッチパネル機能が正常に動作しないとき

本機を使用中に、内部のパソコンで Ctrl+Alt+Del キーによる再起動を実行した際に、まれにスクリーンのタッチパネル機能が正常に動作しないことがあります。
タッチパネル機能を正常な状態に戻すには、主電源スイッチの下にあるタッチパネルリセットスイッチを押します。タッチパネル機能が正常な状態に戻ります。
タッチパネルリセットスイッチを押しても、内部のパソコンに影響はありません。

■映像の切り替え

本機にパソコンやビデオが接続されている場合、それぞれの機器の映像を切り替えて見ることができます。コントロールパネルまたはワイヤレスリモコンで操作できます。

●ビデオの映像を見るとき

コントロールパネルまたはワイヤレスリモコンの、VIDEO ボタンを押します。
スクリーンには、「VIDEO1」が表示されます。ボタンを押すごとに、「VIDEO1」→「VIDEO2」→「VIDEO1」と切り替わります。
リア端子に接続されたビデオの映像を見るときは「VIDEO2」に、フロント端子に接続されたビデオの映像を見るときは「VIDEO1」に、切り替えます。

●パソコンの映像を見るとき

コントロールパネルまたはワイヤレスリモコンの、COMPUTER ボタンを押します。
スクリーンには、「COMPUTER1」が表示されます。ボタンを押すごとに、「COMPUTER1」→「COMPUTER2」→「COMPUTER1」と切り替わります。
リア端子に接続されたパソコンの映像を見るときは「COMPUTER2」に、フロント端子に接続されたパソコンの映像を見るときは「COMPUTER1」に、切り替えます。

映像がちらつく場合は、◀または▶ ボタンを押します。映像のちらつきが無くなります。

●パソコン映像のずれを調整する

本機に接続されたパソコンによっては、映像がずれることがあります。
次の操作で、映像のずれを調整します。

1. パソコンで、ウインドウを全画面表示にするなど、できるだけ明るい画面にします。
2. スクリーンセーバーを設定している場合は、スクリーンセーバーを解除します。
3. コントロールパネルまたはワイヤレスリモコンの、自動調整（AUTO POSITION）ボタンを押します。

自動調整（AUTO POSITION）ボタンで調整した場合、本機の電源を切った後でも、同じパソコンからの映像を表示するたびに自動調整した位置になります。
自動調整してもまだずれている場合は、詳細設定メニューで再調整します。詳しくは、「■信号設定の詳細メニュー」（P.53）を参照してください。

■音量の調整

コントロールパネルまたはワイヤレスリモコンで、スピーカーからの音量を大きくしたり小さくしたりできます。
VOLUME ボタン（＋ボタン、－ボタン）を押すと、スクリーン上に音量表示が表示されます。適当な音量に調整します。VOLUME ボタンを 10 秒以上押さない場合は、音量表示が消えます。
ただし、メニューが表示されているときは、VOLUME ボタンは働きません。

■パソコン映像とビデオ映像の同時表示

本機では、パソコンの映像を親画面、ビデオの映像を子画面として、同時に表示させることができます。この表示を PinP（ピクチャーインピクチャー）機能といいます。
プレゼンテーションを行うときなどに便利な機能です。
次の操作で、同時表示します。

1. ワイヤレスリモコンまたはコントロールパネルの COMPUTER ボタンを押して、親画面に表示するパソコン映像を選択します。
2. パソコン映像を表示した状態で、ワイヤレスリモコンの PinP ボタンを押します。
   子画面が表示されます。
3. ワイヤレスリモコンまたはコントロールパネルの VIDEO ボタンを押して、子画面に表示するビデオ映像を選択します。
4. ワイヤレスリモコンまたはコントロールパネルの VOLUME ボタン（＋ボタン、－ボタン）を押して、子画面のサイズを調整します。
   サイズは 3 段階で表示でき、＋ボタンを押すと大きく、－ボタンを押すと小さくなります。
5. ワイヤレスリモコンまたはコントロールパネルの◀、▶、▲、▼ ボタンを押して、子画面の位置を調整します。
6. PinP 機能を終了するには、ワイヤレスリモコンの PinP ボタンを押します。
   子画面が消えます。

補　足

PinP 機能を実行しているときは、ワイヤレスリモコンおよびコントロールパネルで、親画面と子画面の音量調整はできません。音量調整をしたい場合は、オーディオメニューで行います。詳しくは、「■オーディオメニュー」（P.48）を参照してください。

■マイクの接続

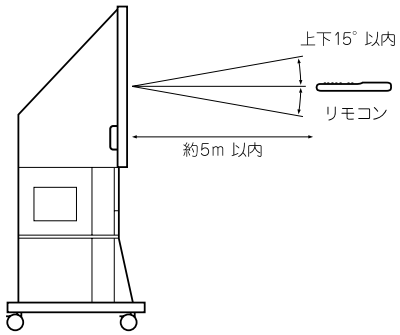
フロント端子にマイクを接続できます。
使用できるマイクはモノラルのみです。端子は、6.3φマイクジャックに対応していますが、付属の変換アダプタでミニジャックも使用できます。

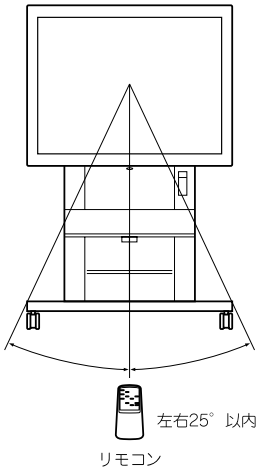
補　足

単一指向性のマイクロフォンを使用すると、ハウリングが発生しにくくなります。

■ワイヤレスリモコンの使用範囲

ワイヤレスリモコンの信号は本機のスクリーン内部のリモコン受光部で受信します。ワイヤレスリモコンは、スクリーンの正面から約 5 メートル、左右 25 度、上下 15 度の範囲内でご使用ください。
スクリーン内のリモコン受光部に直射日光などの強い光があたると、ワイヤレスリモコンで本機を操作できなくなることがあります。本機を使用する際は、光がスクリーンに直接当たらないように、ブラインドで遮光したり、本機の向きを変えたりしてください。





4 使用上の注意

●タッチパネルのガラスについて

ガラスは、強くたたくと割れたりしてけがの原因となることがあります。ガラスの表面にキズがつくと、タッチパネル故障の原因となることがあります。ガラス表面に汚れ、異物が付着すると、タッチパネル誤動作の原因となることがあります。汚れ、異物が付着した場合は、付属の布または柔らかい布で拭き取ってご使用ください。

●パソコンの電源について

Windows パソコンが接続されている場合、必ず Windows の終了を行い、「コンピュータの電源を切る準備ができました」が表示されていること、またはパソコンのパワーランプなどで電源が切られていることを確認してから主電源スイッチを切ってください。この作業を行わないと、パソコンの故障またはデータ破壊の原因になることがあります。

●電源タップの電源容量について

電源タップに接続する機器は、総容量 1,000W 以下でお使いください。レーザープリンタなど大型の周辺機器を接続する場合は、機器の消費電力を確認してください。

●キーボードテーブルの積載重量について

キーボードテーブルにキーボード以外の機器を載せる場合、その重量が 10kg 以内であることを確認してください。10kg 以上の機器や物を載せた場合、テーブルが破損する恐れがあります。
また、手や肘も載せないでください。

5 異常時の処置

⚠警告

煙が出ている、変なにおいがする、変な音がするなど異常状態のまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。このようなときはすぐに機器本体の主電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、サービス実施店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険です。絶対におやめください。

6 修理を依頼する前に

修理を依頼される前に、お客様に調べていただきたい内容を以下にまとめています。以下のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止してください。故障状態のままご使用になると、火災、感電の原因となります。すぐに機器本体の主電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、サービス実施店にご連絡ください。

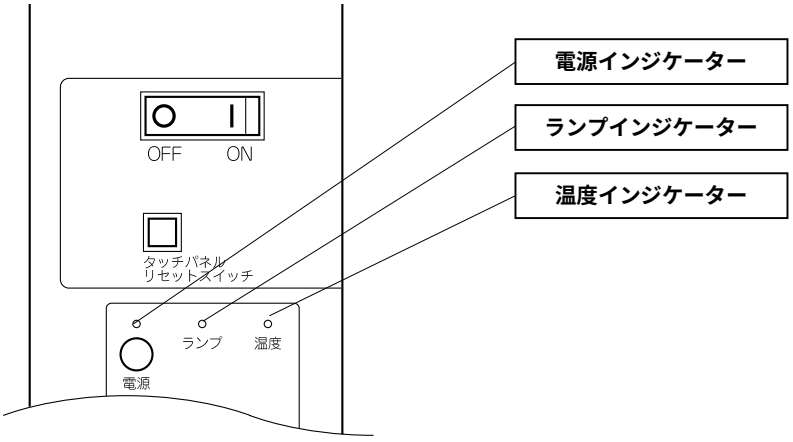
■現象による状態チェックと処置

このようなときは…	ここをお調べください	処　　置
画面に何も映らない！	a. 主電源スイッチは入っていますか？ b. 電源インジケーターが消えていませんか？ c. 電源タップに、正常に電気が供給されていますか？ d. RGB 入力コネクタおよびビデオ信号入力コネクタに信号ケーブルが正しく接続されていますか？ e. 接続されている機器が正しく作動していますか？ f. 適正な信号ケーブルが接続されていますか？ g. 接続されている入力信号を正しく選択していますか？ h. 周囲の温度が高すぎませんか？（温度インジケーターが赤く点滅または点灯していませんか？） i. 光源ランプが切れていませんか？（ランプインジケーターが赤く点灯していませんか？） j. 電源を切ってからすぐに電源を入れましたか？	a. 主電源スイッチを入れてください。 b. 電源コードを正しく接続されていることを確認してください。 主電源スイッチを入れてください。 c. 別の機器で確認してください。 電気が供給されていない場合は、電源プラグをコンセントから抜き、サービス実施店にご相談ください。 d. RGB 入力コネクタおよびビデオ信号入力コネクタに信号ケーブルを正しく接続してください。 e. 接続されている機器を正しく作動させてください。 f. 適正な信号ケーブルを接続してください。 g. 接続されている入力信号を選択してください。 h. 周囲温度を動作温度範囲内に設定し、30 分以上本機を放置冷却した後、電源を入れなおしてください。 i. サービス実施店に依頼して、光源ランプを交換してください。 j. 故障ではありません。画像が映るまで約 2 分かかります。しばらくお待ちください。
ワイヤレスリモコンが操作できない！	a. 電池が正しくセットされていますか？ b. 電池が消耗していませんか？ c. リモコン発光部をスクリーン内の受光部に正しく向けていますか？	a. 電池を正しくセットしてください。 b. 新しい電池と交換してください。 c. リモコン発光部をスクリーン内の受光部に正しく向けて操作してください。
映像が暗い！	明るさの調整が不足していませんか？	画質メニューで「ブライト」を調整してください。
映像がぼやける！	明るさ、画質の調整が不足していませんか？	画質メニューで「ブライト」、「コントラスト」を調整してください。
映像に赤、青、黄などの光る点が見える！	本機の方式特有のものです。故障ではありません。	

このようなときは…	ここをお調べください	処　　置
映像が乱れ、音声に雑音が入る！	a. 外部機器との接続ケーブルが端子に正しく接続されていますか？ b. 他の機器の近くに設置しているために他の機器からの妨害電波を受けていませんか？	a. 接続プラグを端子の奥までしっかりと接続してください。 b. 本機を他の機器から離してください。
音声が出ない！	音量の調整がされていますか？	ワイヤレスリモコン、またはコントロールパネルで音量を調整してください。
排気口から温風が出る！	本機内部を冷却して出てくる温風です。熱く感じることがありますが故障ではありません。	
メニューで設定できない！	前ページの「ワイヤレスリモコンで操作できない！」を参照してください。	
映像がぼやけて残る！	同一の静止画像を長時間ご覧になられた場合、画面を切り換えてもまれに静止画像がぼやけて残ることがありますが、これは故障ではありません。画像残りは、数日間放置しておくと自然に出なくなります。	
タッチパネルで操作できない！	a. タッチパネルコントローラの AC アダプタが電源タップに正しく接続されていますか？ b. タッチパネルケーブルがタッチパネルコントローラの TP-I/F コネクタに正しく接続されていますか？ c. クリーナーなどでタッチパネルを手入れしたときに、その液体がたれてタッチパネルの下部に液が溜まっていませんか？ d. 内部のパソコン上で Ctrl+Alt+Del キーによる再起動をしましたか？	a. AC アダプタを正しく接続してください。 b. タッチパネルケーブルを TP-I/F コネクタに正しく接続してください。 c. タッチパネルの下部に溜まっている液体をきれいに拭き取ってください。 d. タッチパネルリセットスイッチを押してください。

■インジケーターによる状態チェックと処置

本機には、内部の状態を知らせるインジケーターが 3 つあります。インジケーターの光り方によって、本機がどのような状態かを知ることができます。次ページの表に、インジケーターの光り方に対する本機の状態と、異常時の対処方法を説明します。



電源インジケーター

電源の入／切、スタンバイ状態を知らせます。
電源インジケーターは、ランプインジケーターと温度インジケーターとも連動していて、異常が発生した場合、赤く点灯、または赤と緑交互に点滅して異常を知らせます。

ランプインジケーター

ランプカバーおよびフィルターの取り付けが不良であったり、光源ランプの消耗や寿命などで点灯しない状態を知らせます。

補　足

光源ランプの寿命は、平均で約 2,000 時間です。ただし、使用環境によって寿命が異なります。2,000 時間を越える前でも光源ランプが消灯してしまうことがあります。
輝度が低下してスクリーンが暗く表示されたり、色合いが悪くなったりした場合、または光源ランプが切れた場合は、新しい光源ランプと交換してください。光源ランプの交換は、サービス実施店にご連絡ください。

温度インジケーター

通気環境が不良で内部温度が高くなったり、冷却ファンが停止したりしている状態を知らせます。

本機が正常な状態

電源	ランプ	温度	状態	備考
赤点灯	消灯	消灯	電源スタンバイの状態です。	
緑点灯	緑点滅		光源ランプのウォームアップ状態です。	電源のオン・オフの操作はできません。
	緑点灯		電源がオンになった状態です。（正常時）	

本機が異常な状態と対処方法

電源	ランプ	温度	状態	対処
緑点灯 ↓ 赤点灯	緑点灯 ↓ 消灯	赤点滅 ↓ 赤点灯	内部の温度が高くなっています。次の原因が考えられます。 a.吸気口または排気口をふさいでいる。 b.暖房の吹出し口などの高温な場所で使用している。 c.フィルターが汚れている。	a.ふさいでいる物を取り除きます。 b.設置場所を変更します。 c.電源プラグをコンセントから抜き、サービス実施店にご相談ください。
緑点灯	赤/緑点滅	消灯	光源ランプを交換する時期を示します。通算約 1,500 時間使用して、電源をオンにしたときに光ります。	光源ランプの寿命が近づいています。光源ランプを交換してください。光源ランプの交換については、サービス実施店にご依頼ください。
赤点灯	赤点滅		光源ランプを交換する時期を示します。通算約 1,500 時間使用して、電源をオフにしたときに光ります。	
	赤点灯		光源ランプの寿命が過ぎました。通算約 2,000 時間使用しています。	
赤/緑点滅	消灯	消灯	a.ランプカバーが外れています。 b.フィルターが正しく取り付けられていません。	ランプカバーまたはフィルターを正しく取り付けてください。電源プラグをコンセントから抜き、サービス実施店にご相談ください。
	点灯または点滅	点灯または点滅	本機の故障です。	電源プラグをコンセントから抜き、サービス実施店にご相談ください。

電源が入らない状態の対処方法

電源	ランプ	温度	対処
消灯	消灯	消灯	• 電源コードを接続してください。 • 主電源スイッチをオンにしてください。
赤点灯	消灯	消灯	排気口、吸気口をふさいでいる物があれば取り除き、次の操作を行ないます。 1. 主電源スイッチを切ります。 2. 本機の温度が冷めるまで待ちます。 3. 主電源スイッチを入れます。 4. 電源ボタンを押します。
	消灯	赤点滅	• 吸気口、排気口をふさいでいる物があれば取り除きます。 • 暖房の吹き出しが、排気口にかからないようにします。 • フィルターが汚れている可能性があります。電源プラグをコンセントから抜き、サービス実施店にご相談ください。 • 排気口ファンが止まっていないかを確認します。 異物などが挟まっている場合は、取り除きます。それでもファンが止まっている場合は、電源プラグをコンセントから抜き、サービス実施店にご相談ください。
赤点灯	赤点滅	消灯	• 電源ボタンをオフにする前、または電源ボタンをオフにした直後に、主電源スイッチをオフにしたかを確認します。 • 電源を切ってから 1 分以内に電源を入れたかを確認します。 電源を切った後は、1 分間待ってから電源ボタンを押します。 • 数回、電源ボタンを押します。 • 光源ランプを交換する時期です。 光源ランプの交換は、サービス実施店にご相談ください。
赤/緑点滅	消灯	消灯	• ランプカバー、またはフィルターが外れています。 ランプカバー、またはフィルターの取付は、サービス実施店にご相談ください。
	点灯または点滅	点灯または点滅	• 電源プラグをコンセントから抜き、サービス実施店にご相談ください。

7 お手入れ

⚠注意
お手入れをする前に、必ず主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

■外装のお手入れ

・柔らかい布で軽く拭き取ってください。
・汚れがひどいときには、水にうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼってから、汚れを拭き取り、乾いた布で仕上げてください。

■タッチパネルのお手入れ

ガラス表面に汚れ、異物が付着すると、タッチパネル誤動作の原因となることがあります。汚れ、異物が付着した場合は、付属の布または柔らかい布で拭き取ってご使用ください。汚れがひどい場合には、クレポリメイトクリア No.1249（呉工業株式会社製）の使用をお勧めします（クレポリメイトクリアは、全国の日用品・家庭用品店で入手できます）。塗布する際は、付属の布に液体を少量吹き付けて、清掃してください。液体を直接ガラスに吹き付けると、たれた液でタッチパネルの故障の原因になります。

⚠注意
・タッチパネルはガラス製で、合わせガラスを採用しており割れにくく破片が飛び散りにくい構造ですが、ガラスが割れると、場合によってはけがの原因となることがあります。
・ガラスの表面にキズがつくと、タッチパネル故障の原因となることがあります。

■内部の掃除

・タッチパネル付スクリーン内部の掃除は、サービス実施店にご依頼ください。
・掃除を行うと、機器本体の火災・故障を防ぎます。特に梅雨期の前に行うのが効果的です。
・内部掃除の費用については、サービス実施店にお問い合わせください。

■吸気フィルタの清掃

本機の正面に向かって、左側面の吸気口内に吸気フィルタがあります。長い間使用しているとフィルタにホコリが付着します。約半年に一回、掃除機でホコリを吸い取ってください。

■光源ランプの交換

本機には、スクリーンに映像を投影するために光源ランプが内蔵されています。通常のランプ同様に光源ランプも消耗します。光源ランプの寿命は、平均で約 2,000 時間です。光源ランプの使用時間が 2,000 時間を越えると、自動的に電源が切れてしまいます。
ただし、使用環境によって寿命が異なります。2,000 時間を越える前でも光源ランプが消灯してしまうことがあります。
輝度が低下してスクリーンが暗く表示されたり、色合いが悪くなったりした場合、または光源ランプが切れた場合は、新しい光源ランプと交換してください。光源ランプの交換は、サービス実施店にご連絡ください。

重 要

光源ランプの使用時間が 2,000 時間を越えると、自動的に電源が切れて、光源ランプを交換するまで使用できなくなります。
本機を使用していて、以下の状態になったときが光源ランプの交換の目安となります。

- 光源ランプの使用時間が約 1,500 時間を越えると、ランプインジケーターが点滅します。
- 光源ランプの使用時間が約 1,900 時間を越えると、主電源スイッチを押すたびにスクリーン中央上に 1 分間「LAMP!!」のメッセージが表示されます。

8 アフターサービスについて

●保証書は、必ず『販売店・サービス実施店』など所定事項の記入をお確かめください。保証書記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。無償保証期間は、納入日から 1 年間です。

●操作方法や機器のトラブルのお問い合わせ、または消耗品などのご注文や、機器の移転などのご用命は、サービス実施店または、販売店にご連絡ください。

●本機の光源ランプには寿命があり、寿命は故障ではありません。光源ランプが約 1900 時間点灯すると、消耗して寿命となるメッセージがスクリーンに表示されます。このメッセージが表示された場合は、すみやかにサービス実施店に交換をご依頼ください。

●日本国外へ移動したときは、保守サービスは負いかねますので、ご了承ください。

●保証期間終了後の修理については、サービス実施店または、販売店にご連絡ください。

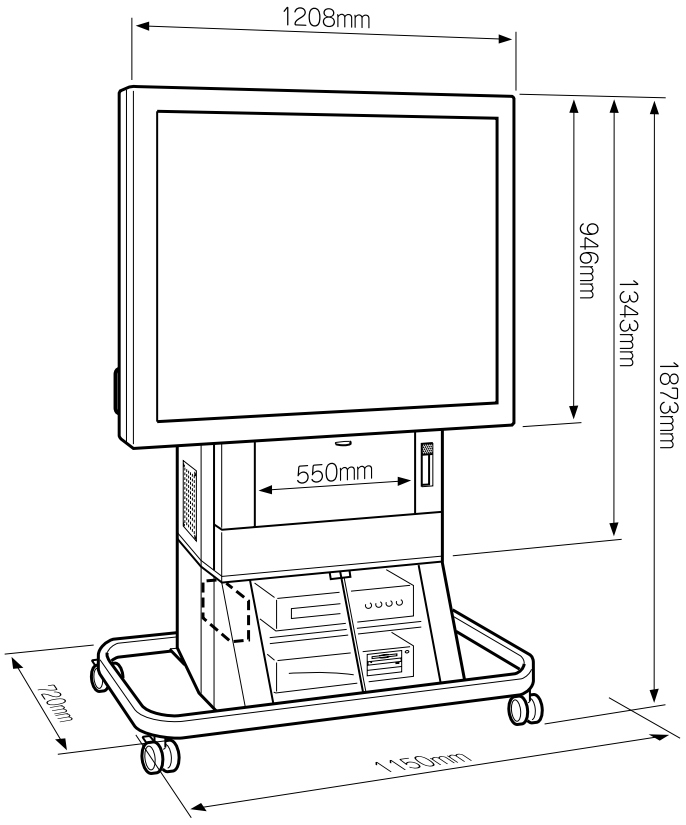
9 仕様

■製品仕様

商品名			MB2-50XⅡ
表示装置	スクリーンサイズ		対角：1320mm（52 型）
	有効表示サイズ		1056.6mm×792.5mm
	アスペクト比		4：3
	表示画素数		1024×768 ドット（XGA）
	輝度		700 カンデラ以上
映像	入力	RGB 信号（COMPUTER）	2 系統（COMPUTER1、2） ①前部：ミニ D-SUB 15P ②後部：ミニ D-SUB 15P
		VIDEO 信号	2 系統（VIDEO1、2） ①前部：RCA ピンジャック、S ビデオ（RCA と S ビデオ自動切替） ②後部：RCA ピンジャック/S ビデオ（RCA と S ビデオ自動切替）
	出力	RGB 信号	1 系統 ②後部：ミニ D-SUB 15P
音声	ライン入力		4 系統 ①後部 RGB：RCA ピンジャック（ステレオ）（COMPUTER2） ②後部ビデオ音声：RCA ピンジャック（ステレオ）（VIDEO2） ③前部 RGB：RCA ピンジャック（ステレオ）（COMPUTER1） ④前部ビデオ音声：RCA ピンジャック（ステレオ）（VIDEO1）
	マイク入力		1 系統 前部：6.3φジャック（モノラル）
	出力		1 系統：映像に連動した系統を出力 ①ラインアウト：RCA ピンジャック（ステレオ） ②内部スピーカー：7W+7W（8Ω）
RS-232C			1 系統 後部：ミニ D-SUB 9P（ディスプレイ制御用）
タッチ入力装置	方式		超音波表面弾性波タッチパネル方式
	Touch resolution		1.72mm/ポイント
	入力方法		指または付属ペン
同梱ソフトウエア			タッチパネルドライバーfor Win98（USB）
全般	外形寸法		W：1208mm　D：720mm　H：1873mm（キャスタ付）
	収納部寸法（スタンド部）		上段（AV 収納部）W：500mm　D：550mm　H：170mm
			下段（PC 収納部）W：500mm　D：550mm　H：174mm
	テーブル寸法		幅：550mm　奥行き：260mm
	温湿度条件		温度 5～40℃　湿度 30～80%（但し結露しないこと）
	電源電圧		100V（50/60Hz）
	消費電力		約 300W
	質量		約 155kg
主な添付品（ソフトウェア除く）			タッチペン（1 本）、ワイヤレスリモコン、保証書、使用説明書、AC アダプタ（TP コントローラ用）、各種ケーブル（CRT ケーブル、USB I/F ケーブル、パソコン用オーディオケーブル：各 1）、タッチパネル清掃用布、マイク変換アダプタ、ロゴシール（リコーロゴ、メディアサイトロゴ各 1 枚）

注 1）ビデオ・DVD 等収納部の棚板は、取り外し（位置変更、上下 2 段ずつ）が可能です。
上記の仕様は、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。
＊この仕様表に掲載されている商品名、会社名は各社の商標および登録商標です。

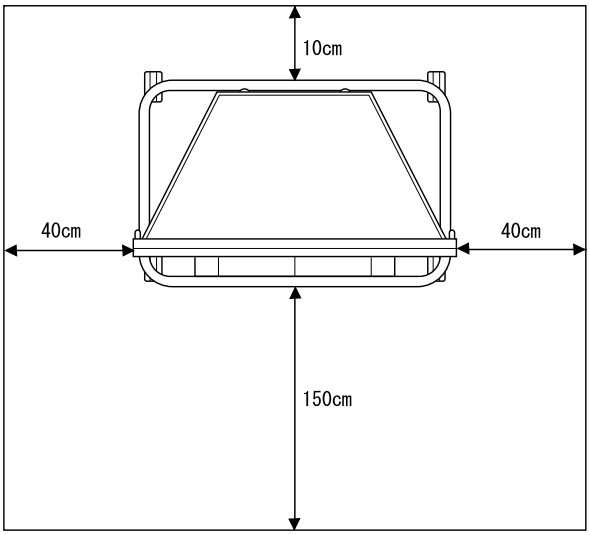
■外形寸法図



■設置スペース

●保守スペース

本製品の周囲には、十分なスペースを設けてください。
操作時やカスタマーエンジニアの作業時などに必要です。



前

10 メニューの使い方

ここでは、画質や音量など本機を調整するためのメニューについて説明します。

■メニュー階層図

メニューは、次の階層で構成されています。

- 画質 ▼
  - コントラスト — 映像のコントラストを強めたり、弱めたりする（-30～+30）
  - ブライト — 映像の明るさを強めたり、弱めたりする（-30～+30）
  - カラーマトリクス ■ — 映像の色ごとの色合いを調整する（1/2/3/4/USER/OFF）
  - 色温度 1/2/3/4 ■ — 映像の色温度を設定する
    - コントラスト R — 映像の赤色のコントラストを強めたり、弱めたりする（-30～+30）
    - コントラスト B — 映像の青色のコントラストを強めたり、弱めたりする（-30～+30）
    - ブライト R — 映像の赤色の明るさを強めたり、弱めたりする（-30～+30）
    - ブライト B — 映像の青色の明るさを強めたり、弱めたりする（-30～+30）
  - シャープネス — 映像の鮮明度を強めたり、弱めたりする COMPUTER（-2～+2）VIDEO（-10～+10）
  - 色合い — [ビデオ入力時のみ表示] 映像の色合いを調整する（-10～+10）
  - 色の濃さ — [ビデオ入力時のみ表示] 映像の色を濃くしたり、薄くしたりする（-10～+10）
- オーディオ ▼
  - 低域 — 音声の低域を調整する（0～3）
  - 高域 — 音声の高域を調整する（0～3）
  - PinPオーディオ — PinP表示時に親の音声を出すか、子の音声を出すかを切り替え
- 設置 ▼
  - 反転表示 — 設置状態に合わせて映像を左右または上下に反転する（OFF/左右/上下/上下左右）
  - 台形補正 — 映像に台形歪みが出た時に画面を見ながら調整する（-15～+15）
  - オートパワーオン — 主電源制御による自動立ち上げのON/OFFを制御する
  - オートパワーオフ — オートパワーオフの設定と時間設定を行う（0～60分/5分おき）
  - テスト信号 — テスト信号を切り替える。設置時の画面サイズ調整等に使用する（クロスハッチ信号）
- オプション ▼
  - メニュー位置 — メニュー表示位置を切り替える(左上/右下)
  - 画面表示 — 画面表示（OSD）のON/OFFを選択する
  - スプラッシュスクリーン — 電源を入れた時、スプラッシュスクリーン（起動画面）を表示するか、しないかを切り替える
  - シネマモード — 映画素材が入力された時、映画特有の信号処理を行うかどうかを選択する
  - 信号判別 — ビデオ信号のカラー方式を選択する（AUTO/NTSC/PAL/SECAM/4.43NTSC/PAL-M/PAL-N/PAL60）
  - 言語選択 — メニュー等の表示に使用する言語を選択する(日本語/英語/西語/独語/仏語/伊語/中語)
- 信号設定 ▼
  - 水平位置 — 映像の表示位置を左右に動かす
  - 垂直位置 — 映像の表示位置を上下に動かす
  - ファイン — 映像にちらつきやぼけが出た時に画面を見ながら調整する
  - 分周比 — 映像に幅広の縞模様が出た時に画面を見ながら調整する
  - RGB入力 — RGB入力に色差信号を入力した時にYC_BC_RまたはYP_BP_Rに切り替える
  - 詳細設定 ■
    - 上部曲がり補正 ■
      - 開始 — 映像に上部曲がり等が出た時に画面を見ながら切り替える（通常は不要）
      - 終了 — 映像に上部曲がり等が出た時に画面を見ながら切り替える（通常は不要）
    - クランプ位置 — 映像に白つぶれ等が出た時に画面を見ながら切り替える（通常は不要）
    - クランプ幅 — 映像に白つぶれ等が出た時に画面を見ながら切り替える（通常は不要）
    - スクイーズ — 映像信号に応じて通常モードとスクイーズモードを切り替える

■メニューの基本操作

メニューは、コントロールパネルとワイヤレスリモコンで操作できます。ワイヤレスリモコンを使用するときはリモコン発光部をスクリーンに向けて操作します。

MENU **ボタン**	メニュー選択バーを表示させます。
◀、▶ボタン	メニュー選択バーからメニューの選択、各メニュー内で設定項目の選択など、縦方向の操作をするときに使用します。
▲、▼ボタン	メニュー選択バー内でアイコンの選択、各メニュー内で設定する値の選択など、横方向の操作をするときに使用します。
ENTER **ボタン**	メニューで設定した内容を確定するときに使用します。

[メニュー選択バーの基本操作]

以下の図は、コントロールパネルとワイヤレスリモコンのボタンによるメニューを選択する基本操作を示しています。

■メニューの設定のしかた

以下の操作を例に、メニューの設定のしかたを説明します。

例）明るさを調整するとき

1. MENU ボタンを押します。
   メニュー選択バーが表示されます。

2. ◀、▶ボタンを押して、［画質］を選択し、▼ボタンを押します。
   画質メニューが表示されます。

3. ▲、▼ボタンを押して、［ブライト］を選択します。
4. ◀、▶ボタンを押して、明るさを調整します。
   ボタンを押す度に、スクリーンの明るさが変わります。
5. ENTER ボタンを押します。
   調節した明るさでスクリーンが表示されます。
6. MENU ボタンを 2 回押して、メニュー選択バーを消します。

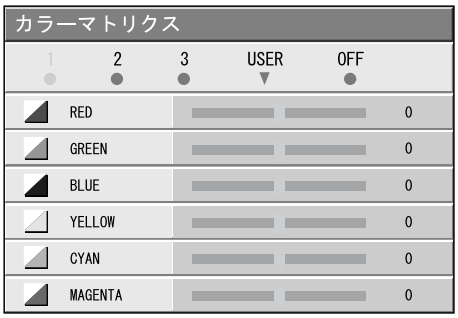
例）カラーマトリクスを調整するとき

1. MENU ボタンを押します。
   メニュー選択バーが表示されます。

2. ◀、▶ボタンを押して、［画質］を選択し、▼ボタンを押します。
   画質メニューが表示されます。

3. ▲、▼ボタンを押して、［カラーマトリクス］を選択します。

4. ENTER ボタンを押します。
   カラーマトリクス設定メニューが表示されます。

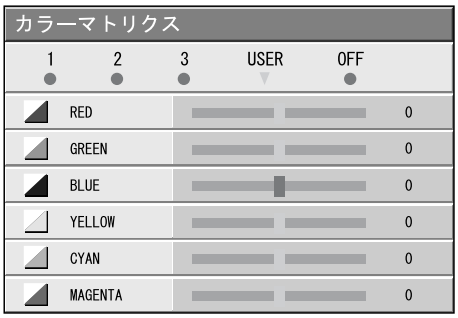


（あらかじめ用意されている設定を使用する場合）

5. ◀、▶ボタンを押して、［1］［2］［3］から選択します。
   またはカラーマトリクスを調整しない場合は、［OFF］を選択します。
   選択した設定の色合いでスクリーンが表示されます。
   操作 8 へ

（独自に調整したい場合）

◀、▶ボタンを押して、［USER］から選択し、▼ボタンを押します。



6. ▲、▼ボタンを押して、設定したい色を選択します。
7. ＋、－ボタンを押して、色合いを調整します。
   必要ならば、6、7 の操作を繰り返して他の色を調整します。
   調整した色合いでスクリーンが表示されます。
8. MENU ボタンを 3 回押して、メニュー選択バーを消します。

■画像メニュー

画像メニューでは、スクリーンの明るさや黒レベルなどを調整します。
映像の調整の詳しい操作方法は、「11 技術情報」の「■パソコン映像の調整のしかた」(P.54)を参照してください。

●コントラスト

映像のコントラストを調整します。▶ボタンを押すと明るくメリハリが出ます（くっきりとした画質になります）。◀ボタンを押すと映像が柔らかくなります。

●ブライト

映像の明るさを調整します。▶ボタンを押すと明るくなります。◀ボタンを押すと暗くなります。
ただし、入力信号によっては、明るさを右方向（明るくなる）に調整しても、明るく白い部分の明暗の差が変化しないことがあります。この場合は、左方向（暗くなる）に調整してください。

●カラーマトリクス

映像の色合いを調整します。室内照明などによる影響から色調を補正するときに使用します。画質メニューの「カラーマトリクス」を選択し、ENTER ボタンを押すとカラーマトリクスの設定メニューが表示されます。
調整方法については、「例）カラーマトリクスを調整するとき」（P. 43）を参照してください。

●色温度

映像の色温度を調整します。画質メニューの「色温度」を選択し、◀、▶ボタンを押して、「1」「2」「3」「4」「■」を選択します。「1」「2」「3」「4」はあらかじめ用意してある設定を使用して色合いを調整します。コントラストとブライトを分けて調整する場合は、「■」を選択します。
色温度の設定メニューが表示されます。

▲、▼ボタンを押して、コントラストかブライトか、赤色（Red）か青色（Blue）を選択します。設定したい色を選択し、◀、▶ボタンを押して、設定します。画質メニューに戻るには、MENU ボタンを押します。
色温度を高くするには、青色の数値を大きく、赤色の数値を小さくします。
色温度を低くするには、青色の数値を小さく、赤色の数値を大きくします。

●シャープネス

映像の鮮明度を調整します。▶ボタンを押すと色が濃くなり、◀ボタンを押すと淡くなります。

RGB 信号入力時　-2〜+2
ビデオ信号入力時 -10〜+10

●色合い

映像の色合いを調整します。▶ボタンを押すと色が緑がかり、◀ボタンを押すと赤みを帯びます。

ビデオ信号入力時のみ調整可能

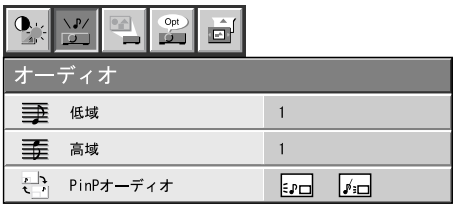
●色の濃さ

映像の色の濃さを調整します。▶ボタンを押すと色が濃くなり、◀ボタンを押すと淡くなります。

ビデオ信号入力時のみ調整可能

■オーディオメニュー

本機のスピーカーから出力される音声を調整します。



●低音

スピーカーから出力される音声の低音を調整します。◀ボタンを押すと低音が強調され、▶ボタンを押すと低音がおさえられます。

●高音

スピーカーから出力される音声の高音を調整します。▶ボタンを押すと高音が強調され、◀ボタンを押すと高音がおさえられます。

●PinP オーディオ

PinP 時に親画面の音声を出力するか、子画面の音声を出力するか選択します。

■設置メニュー

スクリーンに表示される映像の表示方法を設定します。

●反転表示

設定する必要はありません。初期設定のままでご使用ください。
映像を左右または上下に反転させて表示させます。

●台形補正

台形ひずみを調整します。
設定する必要はありません。通常は「0°」でご使用ください。

●オートパワーオン

設定する必要はありません。「ON」でご使用ください。

●オートパワーオフ

設定する必要はありません。「0」でご使用ください。

●テスト信号

通常は「OFF」でご使用ください。
設置時に映像サイズ調整などテスト信号を表示させるときに使用します。

■オプションメニュー

画質、表示、音声以外にも本機を使用する上でより詳細な設定をすることができます。

●メニュー位置

メニューを表示させる位置（左上または右下）を選択します。

●画面表示

画面に情報（OSD）を表示させるかどうかを選択します。

●スプラッシュスクリーン

本機の電源を入れたときに青色のスプラッシュスクリーン（起動画面）を表示するかどうかを選択します。

●シネマモード

通常は「OFF」でご使用ください。
NTSC ビデオ信号で映画などを観る場合に映画特有の映像処理を行いたい場合は、「AUTO」を選択します。

●信号判別

通常は「AUTO」でご使用ください。
ビデオ信号のカラー方式を選択できます。

●言語選択

通常は「AUTO」でご使用ください。
メニュー等で使用する言語を選択できます。

■信号設定メニュー

外部信号や映像や全体的な調整を行います。この設定は外部信号の種類ごとに本機内に記憶されます（最大 10 種類）。入力される外部信号が切り替わると設定も同時に切り替わります。設定したい外部信号を入力した状態で操作してください。

●水平位置

画面全体の水平位置を調整します。▶ボタンを押すと画面全体が右へ移動し、◀ボタンを押すと画面全体が左へ移動します。

●垂直位置

画面全体の垂直位置を調整します。▶ボタンを押すと画面全体が下へ移動し、◀ボタンを押すと画面全体が上へ移動します。

●ファイン

光源部のクロック信号を入力信号に合わせることで、可能な限り画面のちらつきやぼけを押さえます。画面を見ながら、◀、▶ボタンを押して、最も鮮明に画面が見えるように調整してください。ビデオ信号が NTSC や PAL の場合、映像は変化しません。

●分周比

光源部のクロック信号を入力信号に合わせることで、可能な限り画面の幅広のしま模様を押さえます。画面を見ながら、◀、▶ボタンを押して、しま模様が消えるように調整してください。ビデオ信号が NTSC や PAL の場合、画面の横幅が変わります。

●コンピュータ入力

通常は「RGB」でご使用ください。
RGB 信号出力のハイビジョン機器を使用する場合に「RGB」を、YC_BC_R コンポーネントビデオ信号出力の DVD プレーヤを使用する場合に「YC_BC_R」を、YP_RP_R コンポーネントビデオ信号出力の MUSE デコーダを試用する場合に「YP_RP_R」を選択します。

■信号設定の詳細メニュー

通常は変更しないでください。

●上部曲がり補正（開始/終了）

上部曲がりが発生したときに調整します。

●クランプ位置

画面が白くつぶれたり、黒くつぶれたりするときに、画面を見ながら、◀、▶ボタンを押して、つぶれが消えるように調整してください。

●クランプ幅

画面が黒くつぶれたりするときに、画面を見ながら、◀、▶ボタンを押して、つぶれが消えるように調整してください。

●スクイーズ

通常は「OFF」でご使用ください。
スクイーズ（左右に圧縮）された映像が記録された DVD ディスクなどで映像を表示させるときは、この位置に合わせます。

■パソコン映像の調整のしかた

本機では、接続されたパソコンの映像を表示させると、その RGB 信号に合わせて自動的に適切に設定され、正しく映像が表示するよう調整されます。しかし、お使いのパソコンの種類によっては、正しく表示されない場合もあります。その場合は、メニューを使用して表示される映像を調整してください。

初めて本機をご使用になる方、また今までのシステムを変更して本機をお使いになる方は、最適な映像を表示させるために「自動調整」機能を実行してください。
ここでは、簡単に映像を調整する「自動調整」方法、自動調整を実行しても映像が正しく表示されないときの微調整方法を紹介します。

●簡単な映像の調整のしかた

コントロールパネルまたはワイヤレスリモコンの［自動調整］ボタンを押します。
自動調整を実行すると、垂直位置、水平位置、クロック、位相を自動調整し、最適な映像が表示されます。自動調整中は、「自動調整中」のメッセージがメニューの下に表示されます。また、自動調整中はメニューの操作は受け付けません。

［自動調整を行うときの注意］

- 自動調整は、電源を投入して 20 分以上経過してから行ってください。
- 自動調整を行うときは、スクリーン全体にできるだけ明るい絵柄の映像を表示してください。
- 入力信号によっては、自動調整を行っても最適な映像が得られない場合があります。もう一度自動調整を行うか、手動でメニューの各項目を調整してください。
- 自動調整中は映像が乱れますが、故障ではありません。

●簡単な画面位置の調整のしかたしかた

水平位置を調整するには、信号設定メニューの「水平位置」で画面の左端を合わせ、「分周比」で右端を合わせます。
垂直位置を調整するには、信号設定メニューの「垂直位置」で画面の上端を合わせます。

●微調整のしかた

ここでは、自動調整を実行しても映像が正しく表示されない場合の、各症状に応じた映像の調整方法を紹介します。
信号設定メニューを使用します。

症状　画面が左右にずれる

調整　信号設定メニューで［水平位置］を選択し、画面の水平位置を調整します。
▶ボタンを押すと画面全体が右へ移動し、◀ボタンを押すと画面全体が左へ移動します。

症状　画面が上下にずれる

調整　信号設定メニューで［垂直位置］を選択し、画面の垂直位置を調整します。
▶ボタンを押すと画面全体が下へ移動し、◀ボタンを押すと画面全体が上へ移動します。

症状　画面がちらつく、またはぼける

調整　信号設定メニューで［ファイン］を選択し、画面のちらつきやぼけを調整します。
◀、▶ボタンを押して、画面が最も鮮明に見えるようにします。

症状　幅広のしま模様が出る

調整　信号設定メニューで［分周比］を選択し、調整します。
◀、▶ボタンを押して、幅広のしま模様が消えるようにします。

症状　画面が白く（または黒く）つぶれる

調整　信号設定の詳細メニューで［クランプ位置］または［クランプ幅］を選択し、調整します。
◀、▶ボタンを押して、白つぶれまたは黒つぶれが消えるようにします。

●登録されている信号形式

信号表示	解像度（HxV）	水平周波数	垂直周波数	通常表示（HxV）	実寸表示（HxV）
TV60	-	15.73	59.94	1024 x 768	-
TV50	-	15.63	50.00	1024 x 768	-
Hivision	-	33.75	60.00	1024 x 576	-
PC98	640 x 400	24.82	56.42	1024 x 640	640 x 400
CGA70	640 x 400	31.47	70.09	1024 x 640	640 x 400
CGA85	640 x 400	37.86	85.08	1024 x 640	640 x 400
VGA60	640 x 480	31.47	59.94	1024 x 768	640 x 480
VGA72	640 x 480	37.86	72.81	1024 x 768	640 x 480
VGA75	640 x 480	37.50	75.00	1024 x 768	640 x 480
VGA85	640 x 480	43.27	85.01	1024 x 768	640 x 480
SVGA56	800 x 600	35.16	56.25	1024 x 768	800 x 600
SVGA60	800 x 600	37.88	60.32	1024 x 768	800 x 600
SVGA72	800 x 600	48.08	72.19	1024 x 768	800 x 600
SVGA75	800 x 600	46.88	75.00	1024 x 768	800 x 600
SVGA85	800 x 600	53.67	85.06	1024 x 768	800 x 600
XGA43i	1024 x 768	35.52	86.96	1024 x 768	1024 x 768
XGA60	1024 x 768	48.36	60.00	1024 x 768	1024 x 768
XGA70	1024 x 768	56.48	70.07	1024 x 768	1024 x 768
XGA75	1024 x 768	60.02	75.03	1024 x 768	1024 x 768
XGA85	1024 x 768	68.68	85.00	1024 x 768	1024 x 768
SXGA70a	1152 x 864	63.85	70.01	1024 x 768	1024 x 768
SXGA75a	1152 x 864	67.50	75.00	1024 x 768	1024 x 768
SXGA85a	1152 x 864	77.49	85.06	1024 x 768	1024 x 768
SXGA60a	1280 x 960	60.00	60.00	1024 x 768	1024 x 768
SXGA75a	1280 x 960	75.00	75.00	1024 x 768	1024 x 768
SXGA43i	1280 x 1024	46.43	86.87	960 x 768	1024 x 768
SXGA60	1280 x 1024	63.98	60.02	960 x 768	1024 x 768
SXGA75	1280 x 1024	79.98	75.03	960 x 768	1024 x 768
MAC13	640 x 480	35.00	66.67	1024 x 768	640 x 480
MAC16	832 x 624	49.72	74.55	1024 x 768	832 x 624
MAC19	1024 x 768	60.24	75.02	1024 x 768	1024 x 768
MAC21	1152 x 870	68.59	74.96	1024 x 768	1024 x 768
HP75	1024 x 768	62.94	74.92	1024 x 768	1024 x 768
HP72	1280 x 768	78.13	72.00	960 x 768	1024 x 768
SUN66a	1152 x 900	61.85	66.00	960 x 768	1024 x 768
SUN76a	1152 x 900	71.81	76.63	960 x 768	1024 x 768
SUN76	1280 x 1024	81.13	76.11	960 x 768	1024 x 768
IBM60	1280 x 1024	63.42	60.00	960 x 768	1024 x 768

- 「信号表示」は信号設定メニューの設定選択欄中に表示されます。
- お使いのパソコンの機種によっては、表示できないことがあります。
- 本機の最大解像度は 1,024×768 ドットです。これ以上の解像度の場合は、本来の解像度が得られません。
- SYNC ON G 対応の信号は、映像が緑がかったり、画面が少し揺れることがあります。
- 表に載っていない解像度と周波数の表示形式を持つコンピュータでも、表に載っている解像度と周波数に変更できる場合もあります。
- ハイビジョン信号などを RGB 信号で入力するときは、信号設定メニューでコンピュータ入力の設定を RGB に変更します。

■パソコンから本機の機能を制御する

パソコンから本機表示部の機能を制御する場合、本機のリア端子部の RS-232C 端子とパソコンの RS-232C 端子を RS-232C クロスケーブルで接続します。

パソコンで制御できる表示部の機能

- 電源のオン/オフ
- 画面表示のオン/オフ
- 入力信号の切り替え
- ボリュームの調整
- 異常の有無
- ミュートのオン/オフ

●インターフェース

プロトコル	RS-232C
ボーレート	9600［bps］
データ長	7［bits］
パリティ	無し
ストップビット	1［bits］
フロー制御	無し

- リア端子部の RS-232C 端子のピン配列は、DTE 仕様です。
- RS-232C による制御は、RXD、TXD、GND の 3 つの信号を使用しています。
  他のピンは NC（未接続）です。
  RXD 信号：ピン 2（入力）、TXD 信号：ピン 3（出力）、GND 信号：（ピン 5）

●制御コマンド構成

コマンドは、アドレスコード、ファンクションコード、データコード、エンドコードの 4 コードで構成されており、コマンドの信号長は、ファンクションごとに異なります。

	アドレスコード	ファンクションコード	データコード	エンドコード
HEX	30h30h	ファンクション	データ	0Dh
ASCII	'0' '0'	ファンクション	データ	↵

アドレスコード	HEX 30h30h（ASCII '0' '0'）固定
ファンクションコード	各制御動作固有のコード
データコード	各制御動作固有のコード（数値など）（指定しない場合もあります）
エンドコード	HEX 0Dh（ASCII ↵）固定

●制御シーケンス

(1) パソコンから本機へのコマンドは、400ms 以内に送信します。

(2) 本機は、エンドコード受信後 400ms 以内にリターンコマンドを送信します。正常に受信できないときは、リターンコマンドは送信しません。

(3) パソコンでは、リターンコマンドをチェックし、送信したコマンドが本機で正しく実行されたかどうかを確認してください。

(4) 本機からは、リターンコマンド以外にもいろいろな他のコードがパソコンに送信されます。RS-232C による制御シーケンスを行っている場合は、パソコン側で不要な他のコードを破棄してください。

［例］光源ランプの電源を「点灯（入）」にする（' '内は ASCII の場合）

パソコンから送信するコマンド	本機からパソコンに返すコマンド（状態）	意味
3030310D '0' '0' '!' '↵'		本機の光源ランプの電源を「入」にするコマンドを送信
	30 30 21 0D '0' '0' '!' '↵'	本機がコマンドを受け取った（コマンドエコーバック）

●操作コマンド

操作コマンドは、本機表示部の基本操作の設定を行います。ただし、信号の切り替え時には動作しない場合があります。操作コマンドには、データコードはありません。

	ASCII	HEX	備考
POWER ON	!	21h	光源ランプの点灯と消灯
POWER OFF	"	22h	
INPUT COMPUTER 1	_r1	5Fh 72h 31h	
INPUT COMPUTER 2	_r2	5Fh 72h 32h	
INPUT VIDEO 1	_v1	5Fh 76h 31h	
INPUT VIDEO 2	_v2	5Fh 76h 32h	

［例］入力信号を「COMPUTER 1」にする（' '内は ASCII の場合）

パソコンから送信するコマンド	本機からパソコンに返すコマンド（状態）	意味
3030 5F 72 31 0D '0' '0' '_' 'r' '1' '↵'		本機の入力信号を「COMPUTER 1」にするコマンドを送信
	30 30 5F 72 31 0D '0' '0' '_' 'r' '1' '↵'	本機がコマンドを受け取った（コマンドエコーバック）

●リモコンコマンド

リモコンコマンドでは、パソコンでワイヤレスリモコンと同様に本機表示部を操作できます。ワイヤレスリモコンの操作方法は、「■ワイヤレスリモコン」（P.11）「■メニューの基本操作」（P.41）を参照してください。
リモコンコマンドにはデータコードはありません。

リモコンのボタン名	ASCII	HEX	備考
＋/音量（ボリューム）	r06	72h 30h 36h	
－/音量（ボリューム）	r07	72h 30h 37h	
画面拡大（EXPAND）	r02	72h 30h 32h	
ミュート（MUTE）	ra6	72h 61h 36h	
PinP	r04	72h 30h 34h	
▲	r53	72h 35h 33h	
▼	r2b	72h 32h 62h	
◀	r4f	72h 34h 66h	
▶	r59	72h 35h 39h	
メニュー（MENU）	r54	72h 35h 34h	
確定（ENTER）	r10	72h 31h 30h	
ZOOM/FOCUS	r0f	72h 31h 30h	機能しません。
AUTO POSITION	r09	72h 30h 39h	
静止（STILL）	ra4	72h 61h 34h	

［例］メニューを表示する（' '内は ASCII の場合）

パソコンから送信するコマンド	本機からパソコンに返すコマンド（状態）	意味
30 30 72 35 34 0D '0' '0' 'r' '5' '4' '↵'		本機のメニューボタンに相当するコマンドを送信
	30 30 72 35 34 0D '0' '0' 'r' '5' '4' '↵'	本機がコマンドを受け取った（コマンドエコーバック）

●ワーニングコマンド

過去 3 回分のワーニング履歴データを読み出します。データを付加せずにパソコンから本機にワーニングコマンドを送信します。コマンドを受け取った本機は、ワーニング履歴データをデータコードに格納してパソコンにコマンドを送信します。

	ASCII	HEX	備考
履歴データ 1（最新）	Ep1	45h 70h 31h	
履歴データ 2	Ep2	45h 70h 32h	
履歴データ 3	Ep3	45h 70h 33h	
履歴データのクリア	Ec	45h 63h	

本機からのリターンコードを次に示します。異常が発生したビットを 1、それ以外は 0 です。

	ASCII	HEX	備考
履歴データ 1（最新）	Ep1 ★	45h 70h 31h ☆	☆は、16 進 7 桁 ★は、☆に対応する ASCII コード
履歴データ 2	Ep2 ★	45h 70h 32h ☆	
履歴データ 3	Ep3 ★	45h 70h 33h ☆	

ビット位置	内容
b1	発生時間（自己診断中またはスタンバイ中は 0、電源が「入」のときは 1）
b2	マイコンと IC PIC1 との通信不良
b3	マイコンと IC PIC2 との通信不良
b4	マイコンと IC PIC3 との通信不良
b5	マイコンと IC PIC4 との通信不良
b6	マイコンと IC PIC5 との通信不良
b7	スタンバイ電源異常
b8	スイッチ電源異常（SC コネクタ）
b9	スイッチ電源異常（SP コネクタ）
b10	スイッチ電源異常（SD コネクタ）
b11	ファンの停止（吸気）
b12	ファンの停止（排気）
b13	ファンの停止（電源）
b14	ファンの停止（音声）※本機では無効
b15	ランプカバーが閉じていない
b16	フィルターカバー（底面）が閉じていない
b17	フィルターカバー（底面）が閉じていない
b18	温度センサーの抜け（SZ コネクタ）
b19	デコーダの通信不良
b20	温度異常（外気）
b21	温度異常（ランプ）
b22	温度異常（液晶）
b23	温度異常（外気と液晶の温度差）
b24	ランプ寿命
b25	ランプ不点灯

［例］ワーニング履歴を確認したら、排気ファン異常だった場合（' '内は ASCII の場合）

パソコンから送信するコマンド	本機からパソコンに返すコマンド（状態）	意味
30 30 45 70 31 0D '0' '0' 'E' 'p' '1' '↵'		ワーニング履歴データを確認するコマンドを送信
	30 30 45 70 31 38 30 31 30 30 30 30 0D '0' '0' 'E' 'p' '1' '8' '0' '1' '0' '0' '0' '0' '↵'	本機の光源ランプの電源が「入」のとき排気ファン異常のエラーコード

データコード（16 進 7 桁）のビット構成［例］8010000h の場合

	(MSB)																								(LSB)
バイナリ（0 または 1）	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
HEX（16 進表記）	8				0				1				0				0				0				0
ビット	b1	b2	b3	b4	b5	b6	b7	b8	b9	b10	b11	b12	b13	b14	b15	b16	b17	b18	b19	b20	b21	b22	b23	b24	b25	0	0	0

意味：b1=1 なので電源が「入」のとき、b12=1 なのでファンが停止した。

●読み出しコマンド

本機表示部の動作状況をモニターできます。モニターできる内容は、光源ランプ電源の「入」「切」と入力信号の設定です。

	ファンクション		データコード（受信時のみ）	
	ASCII	HEX	ASCII	HEX
POWER ON	vP	76h 50h	1	31h
POWER OFF	vP	76h 50h	0	30h
INPUT COMPUTER 1	vI	76h 49h	r1	72h 31h
INPUT COMPUTER 2	vI	76h 49h	r2	72h 32h
INPUT VIDEO 1	vI	76h 49h	v1	76h 31h
INPUT VIDEO 2	vI	76h 49h	v2	76h 32h

データを付加せずにパソコンから本機に読み出しコマンドを送信します。コマンドを受け取った本機は、データコードに現在の本機表示部の動作状況を付加してパソコンにコマンドを送信します。

［例］動作状況を確認したら、入力信号が VIDEO 1 だった場合（' '内は ASCII の場合）

パソコンから送信するコマンド	本機からパソコンに返すコマンド（状態）	意味
30 30 76 49 0D '0' '0' 'v' 'I' '↵'		入力信号の確認するコマンドを送信
	30 30 76 49 76 31 0D '0' '0' 'v' 'I' 'v' '1' '↵'	入力信号が VIDEO 1 になっている エラーコード

●メニュー設定コマンド

メニュー設定コマンドでは、パソコンで本機表示部のメニューと同様に本機表示部を操作できます。メニューの操作方法は、「10 メニューの使い方」（P.40）を参照してください。
パソコンから本機にメニューの項目（ファンクション）に設定したい値（データコード）を付加してコマンドを送信します。
データを付加せずにパソコンから本機にコマンドを送信すると、コマンドを受け取った本機は、現在の値をデータコードに格納してパソコンにコマンドを送信します。

	ファンクション		データコード（値）
	ASCII	HEX	
画質メニュー			
コントラスト	P	50h	±30±30±30（赤の差分+メインデータ+青の差分）
ブライト	Q	51h	±30±30±30（赤の差分+メインデータ+青の差分）
カラーマトリクス（モード）	CMT	43h 4Dh 54h	1、2、3、4（USER）、5（OFF）
カラーマトリクス（RGB）	MRGB	4Dh 52h 47h 42h	±10±10±10（R+G+B）
カラーマトリクス（YCM）	MYCM	4Dh 59h 43h 4Dh	±10±10±10（Y+C+M）
色温度	A	41h	1（標準）、2（高）、3（低）、4（詳細設定）
シャープネス（COMPUTER 入力時）	R1	52h 31h	±2
シャープネス（VIDEO 入力時）	R2	52h 32h	±10
色合い	S	53h	±10
色の濃さ	T	54H	±10
オーディオメニュー			
低域	AUB	41h 55h 42h	0、1、2、3
高域	AUT	41h 55h 54h	0、1、2、3
PinP オーディオ	AUP	41h 55h 50h	0（親画面）、1（子画面）
設置メニュー			
反転表示	IR	49h 52h	0（OFF）、1（左右）、2（上下）、3（上下左右）
台形補正	KS	4Bh 53h	±15
オートパワーオン	APON	41h 50h 4Fh 4Eh	0（ON）、1（OFF）
オートパワーオフ	APOF	41h 50h 4Fh 46h	0（切）、05、10、15、20、25、30、35、40、45、50、55、60
テスト信号	TS	54h 53h	0（ON）、1（OFF）
オプションメニュー			
メニュー位置	MP	4Dh 50h	0（左上）、1（右下）
画面表示	MD	4Dh 44h	0（ON）、1（OFF）
スプラッシュスクリーン	SS	53h 53h	0（ON）、1（OFF）
シネマモード	CM	43h 4Dh	0（AUTO）、1（OFF）
信号判別	VS	56h 53h	0（AUTO）、1（NTSC）、2（PAL）、3（SECAM）、4（4.43NTSC）、5（PAL-M）、6（PAL-N）、7（PAL-60）
言語選択	LG	4Ch 47h	0（日本語）、1（英語）、2（西語）、3（独語）、4（仏語）、5（伊語）、6（中語）
信号設定			
水平位置	HP	48h 50h	＋（増加）、－（減少）
垂直位置	VP	56h 50h	＋（増加）、－（減少）
ファイン	FN	46h 4Eh	00～31
分周比	TRK	54h 52h 4Bh	＋（増加）、－（減少）
コンピュータ入力	CIN	67h 49h 4Eh	0（RGB）、1（YC_BC_R）、2（YP_BP_R）
上部曲がり補正 開始	HLB	48h 4Ch 42h	00～15
上部曲がり補正 終了	HLE	48h 4Ch 45h	00～15
クランプ位置	CLW	43h 4Ch 50h	000～255
クランプ幅	CLW	43h 4Ch 50h	000～255
スクイーズ	SCLW	53h 43h	0（ON）、1（OFF）

データコード（設定値）は、ASCII で設定します。符号（＋－）と数字（0～9）の ASCII と HEX の対応関係を次に示します。

ASCII	'+'	'-'	'0'	'1'	'2'	'3'	'4'	'5'	'6'	'7'	'8'	'9'
HEX	2Bh	2Dh	30h	31h	32h	33h	34h	35h	36h	37h	38h	39h

［例］ コントラスト R の差分値を+10、メインデータの設定値を 0、コントラスト B の差分値を-5 にする場合（' '内は ASCII の場合）

パソコンから送信 するコマンド	本機からパソコンに 返すコマンド（状態）	意味
30 30 50 2B 31 30 2B 30 2D 30 35 0D '0' '0' 'P' '+' '1' '0' '+' '0' '0' '-' '0' '5' '↵'		コントラストの値を設定するコマンドを送信
	30 30 50 2B 31 30 2B 30 2D 30 35 0D '0' '0' 'P' '+' '1' '0' '+' '0' '0' '-' '0' '5' '↵'	本機がコマンドを受け取った （コマンドエコーバック）

［例］ 色合いの設定値を確認、色合いの値が+10 だった場合（' '内は ASCII の場合）

パソコンから送信 するコマンド	本機からパソコンに 返すコマンド（状態）	意味
30 30 53 0D '0' '0' 'S' '↵'		現在の色合いの設定値を確認するコマンドを送信
	30 30 53 2B 31 30 0D '0' '0' 'S' '+' '1' '0' '↵'	本機がコマンドを受け取った （コマンドエコーバック）

■タッチパネル制御ソフトウエアのインストール

タッチパネル制御ソフトウェアは、Windows 98、Windows 2000、Windows Me の各 OS で動作します。各 OS でのインストール手順に従って、タッチパネル制御ソフトウェアをインストールしてください。
すでにタッチパネル制御ソフトウェアがインストールされていて、再インストールする場合は、タッチパネル制御ソフトウェアをアンインストールしてください。

●Windows 98 へのインストール

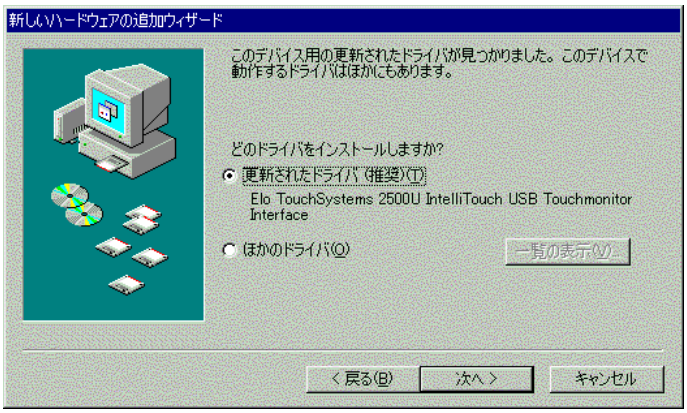
1. 本機の電源を入れ、パソコンを起動します。
   USB ケーブルを使用して、タッチパネルコントローラとパソコンを接続します。
   自動的にソフトウエアのインストールが始まります。

2. 画面の指示に従って、「USB ヒューマンインターフェイスデバイス」のインストールを行います。
3. コントロールパネルの［システム］→［デバイスマネージャ］→［USB ヒューマンインターフェイスデバイス］を選択し、［プロパティ］ボタンをクリックします。
4. ［ドライバ］→［ドライバの更新］を選択します。

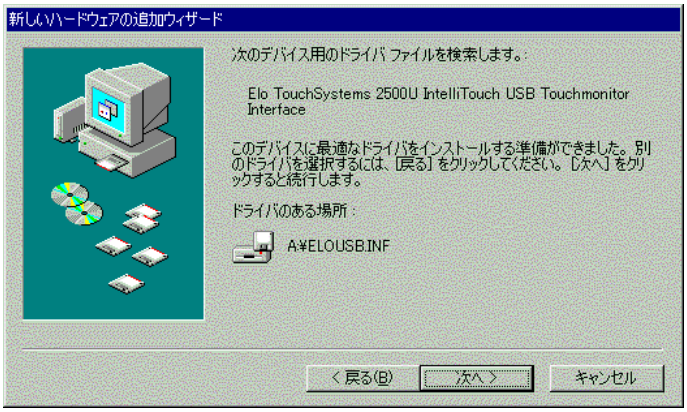
5. ［次へ］ボタンをクリックします。

6. ［次へ］ボタンをクリックします。

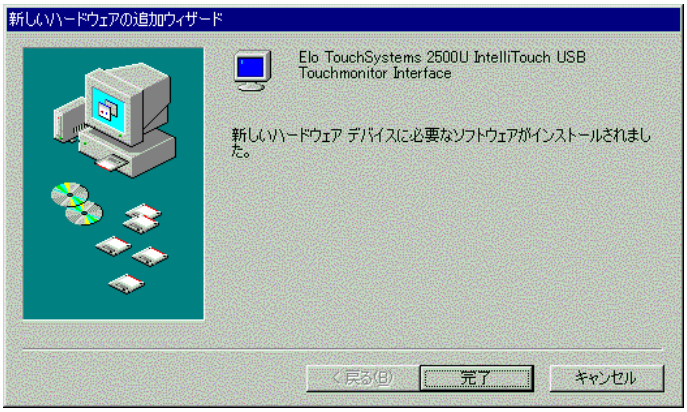
7. タッチパネル制御ソフトウェアのフロッピーディスクをフロッピードライブに挿入して、［次へ］ボタンをクリックします。



8. ［次へ］ボタンをクリックします。



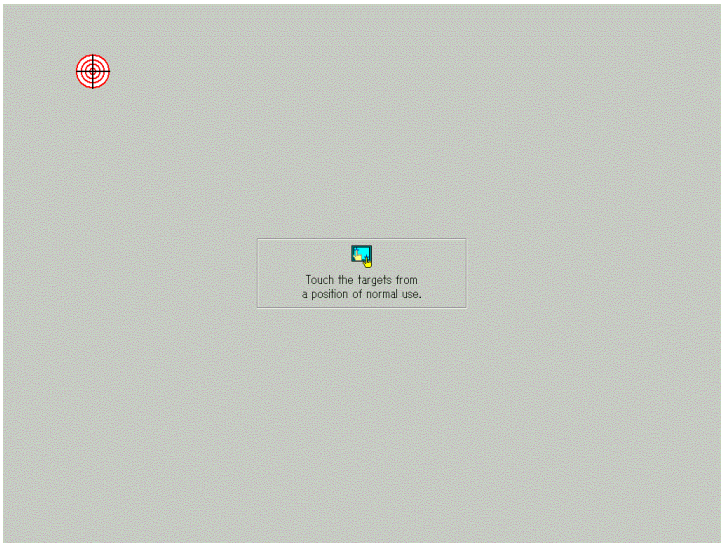
9. ［次へ］ボタンをクリックします。



10. ［完了］ボタンをクリックします。

11. しばらくして、タッチパネルを調整する「Elo USB Tool for Windows」ソフトウェアのインストール画面が表示されます。

12. ［Next］ボタンをクリックします。
画面とタッチパネル座標を調整する補正画面が表示されます。



13. 画面に表示される 3 点（左上、右下、右上、この 3 点を補正点といいます）を指などで押します。途中で補正を中止する場合は、<ESC>キーを押します。

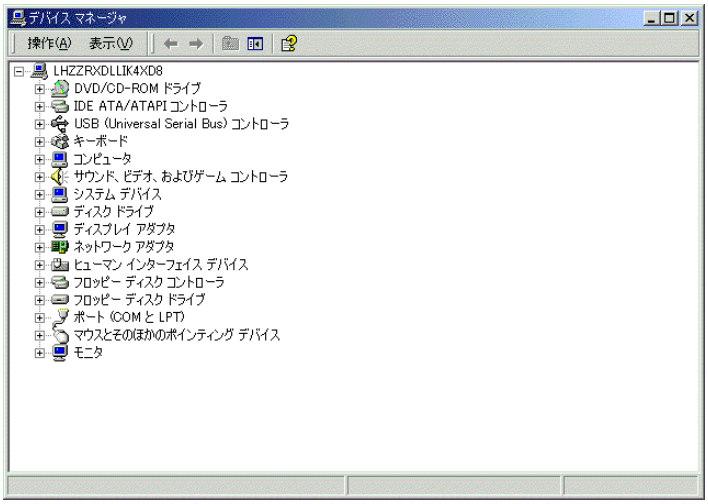
14. メッセージダイアログが表示されたら、［Yes］ボタンをクリックします。
補正情報は、パソコンの OS に記録されます。一度位置補正すると、ディスプレイや解像度を変更しない限り、以降調整する必要はありません。

15. ［OK］ボタンをクリックします。
これでタッチパネル制御ソフトウェアのインストールは完了です。

●Windows 2000 へのインストール

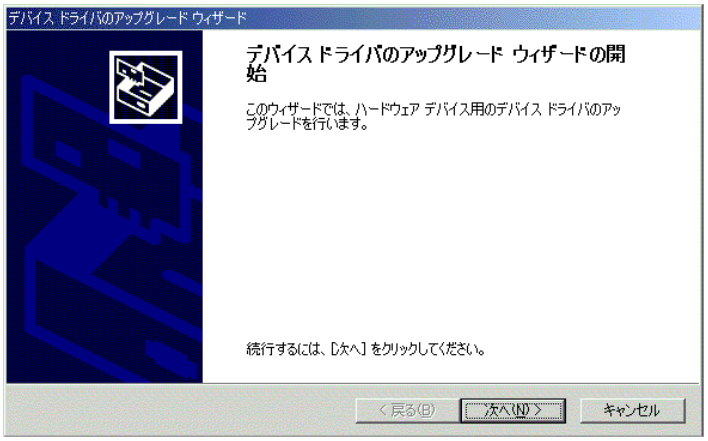
1. 本機の電源を入れ、パソコンを起動します。
   USB ケーブルを使用して、タッチパネルコントローラとパソコンを接続します。
   自動的に「USB ヒューマンインターフェイスデバイス」がインストールされます。

2. コントロールパネルの［システム］→［ハードウェア］を選択し、［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。

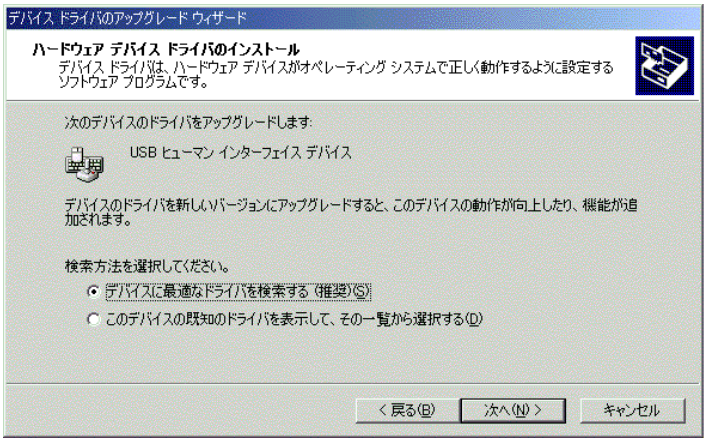


3. ［ヒューマンインターフェイスデバイス］→［USB ヒューマンインターフェイスデバイス］を選択し、右クリックします。ショートカットメニューから［プロパティ］を選択します。

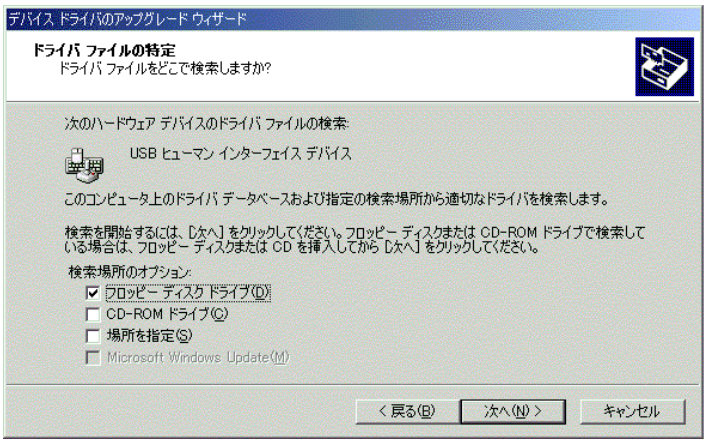
4. ［ドライバ］を選択し、［ドライバの更新］ボタンをクリックします。



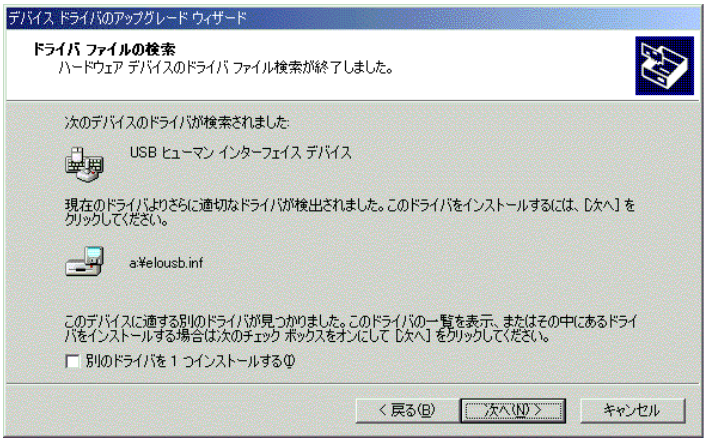
5. ［次へ］ボタンをクリックします。



6. ［次へ］ボタンをクリックします。



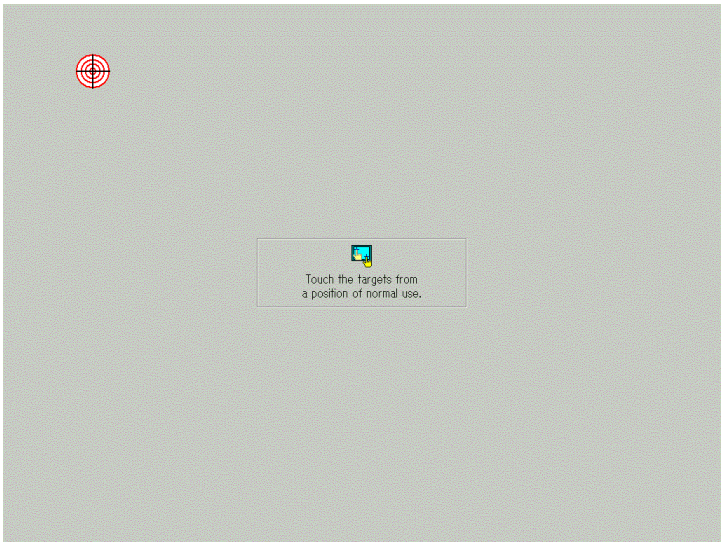
7. タッチパネル制御ソフトウェアのフロッピーディスクをフロッピードライブに挿入して、［次へ］ボタンをクリックします。



8. ［次へ］ボタンをクリックします。
［デジタル署名が見つかりませんでした］ダイアログが表示されますが、そのまま［はい］ボタンをクリックします。

9. しばらくして、タッチパネルを調整する「Elo USB Tool for Windows」ソフトウェアのインストール画面が表示されます。

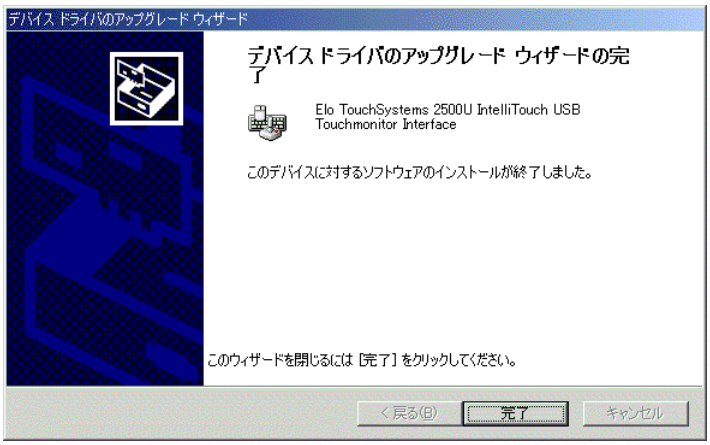
10. ［Next］ボタンをクリックして、メッセージダイアログが表示されたら、［Yes］ボタンをクリックします。
画面とタッチパネル座標を調整する補正画面が表示されます。



11. 画面に表示される 3 点（左上、右下、右上、この 3 点を補正点といいます）を指などで押します。途中で補正を中止する場合は、<ESC>キーを押します。

12. メッセージダイアログが表示されたら、［Yes］ボタンをクリックします。
補正情報は、パソコンの OS に記録されます。一度位置補正すると、ディスプレイや解像度を変更しない限り、以降調整する必要はありません。

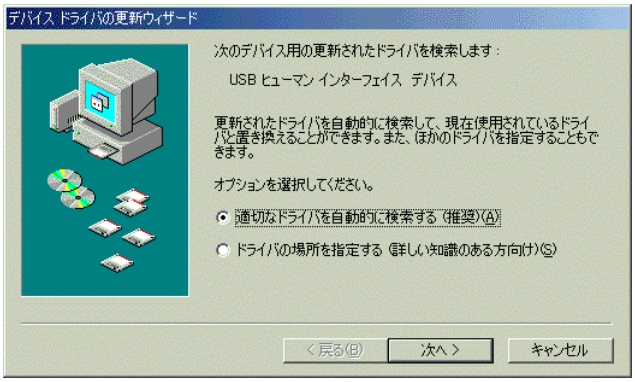
13. ［OK］ボタンをクリックします。



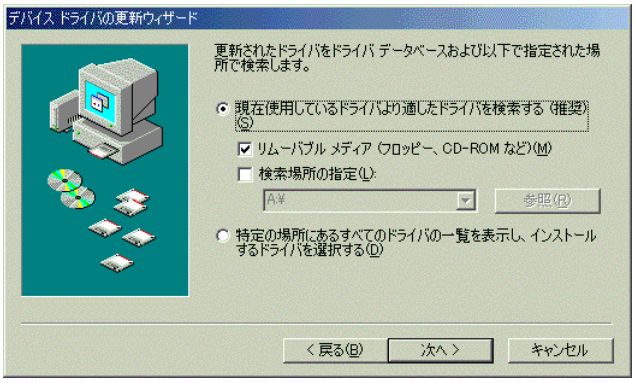
14. ［完了］ボタンをクリックします。
これでタッチパネル制御ソフトウェアのインストールは完了です。

●Windows Me へのインストール

1. 本機の電源を入れ、パソコンを起動します。
   USB ケーブルを使用して、タッチパネルコントローラとパソコンを接続します。
   自動的に「USB ヒューマンインターフェイスデバイス」がインストールされます。
2. コントロールパネルの［システム］→［デバイスマネージャ］→［USB ヒューマンインターフェイスデバイス］を選択し、［プロパティ］ボタンをクリックします。
3. ［ドライバ］→［ドライバの更新］を選択します。



4. 「ドライバの場所を指定する」のラジオボタンをチェックして、［次へ］ボタンをクリックします。



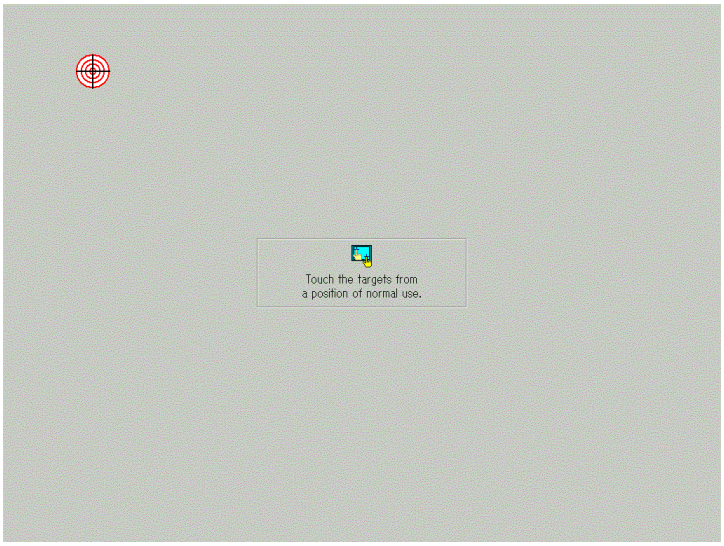
5. 「特定の場所にあるすべての…」のラジオボタンをチェックして、［次へ］ボタンをクリックします。

6. タッチパネル制御ソフトウェアのフロッピーディスクをフロッピードライブに挿入して、［ディスク使用］ボタンをクリックします。
画面の指示に従って、フロッピーディスクのある場所を指定し、タッチパネル制御ソフトウェアのフロッピーがあるドライブ（パス）を指定します。

7. ［次へ］ボタンをクリックします。

8. しばらくして、タッチパネルを調整する「Elo USB Tool for Windows」ソフトウェアのインストール画面が表示されます。

9. ［Next］ボタンをクリックして、メッセージダイアログが表示されたら、［Yes］ボタンをクリックします。
画面とタッチパネル座標を調整する補正画面が表示されます。



10. 画面に表示される 3 点（左上、右下、右上、この 3 点を補正点といいます）を指などで押します。途中で補正を中止する場合は、<ESC>キーを押します。

11. メッセージダイアログが表示されたら、［Yes］ボタンをクリックします。
補正情報は、パソコンの OS に記録されます。一度位置補正すると、ディスプレイや解像度を変更しない限り、以降調整する必要はありません。

12. ［OK］ボタンをクリックします。

13. ［完了］ボタンをクリックします。
これでタッチパネル制御ソフトウェアのインストールは完了です。

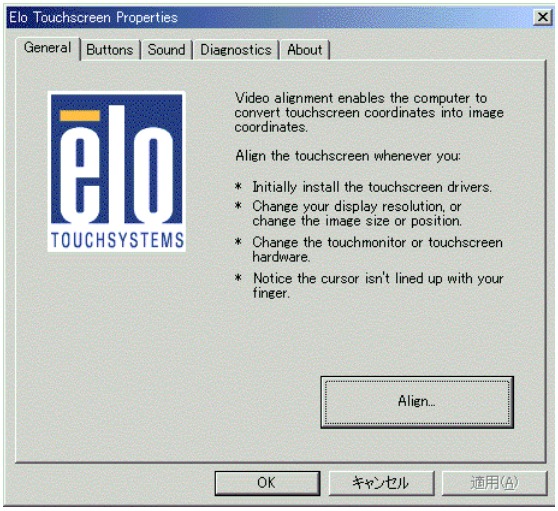
●アンインストール

コントロールパネルの［アプリケーションの追加と削除］を使用して、「Elo USB Tool for Windows」を削除します。

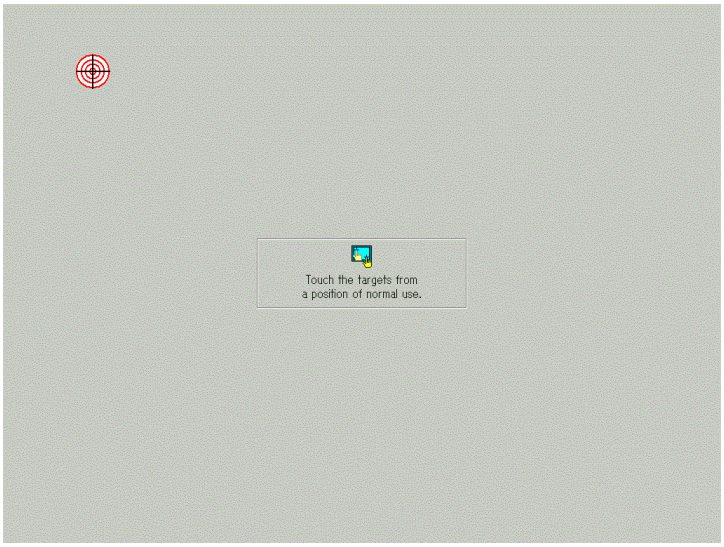
●タッチパネルの調整（キャリブレイト）

タッチパネルを指などで入力した実際の位置と、マウスカーソルの位置を一致させる位置補正を行います。

1. コントロールパネルから「Elo Touchscreen」アイコンを選択します。



2. ［Align.］ボタンをクリックします。
画面とタッチパネル座標を調整する補正画面が表示されます。



3. 画面に表示される 3 点（左上、右下、右上、この 3 点を補正点といいます）を指などで押します。途中で補正を中止する場合は、<ESC>キーを押します。

4. メッセージダイアログで［Yes］ボタンをクリックします。
   補正情報は、パソコンの OS に記録されます。一度位置補正すると、ディスプレイや解像度を変更しない限り、以降調整する必要はありません。
5. ［OK］ボタンをクリックします。

索引

英字

AUTO POSITION ボタン, 10, 11, 24
COMPUTER ボタン, 10, 11
MENU ボタン, 10, 11
PinP オーディオ, 48
PinP 機能, 25
PinP ボタン, 11
VIDEO ボタン, 10, 11
VOLUME-音量ボタン, 11
VOLUME＋ボタン, 10
VOLUME－ボタン, 10

あ

明るさ, 45
アドレスコード, 57

い

移動用取っ手, 7
色合い, 46, 47
色温度, 46
色の濃さ, 47
インジケーター, 31

え

映像の切り替え方, 24
エンドコード, 57

お

オーディオメニュー, 48
　PinP オーディオ, 48
　高音, 48
　低音, 48
オートパワーオフ, 49
オートパワーオン, 49
オプションメニュー, 50
　画面表示, 50
　言語選択, 50
　シネマモード, 50
　信号判別, 50
　スプラッシュスクリーン, 50
　メニュー位置, 50
親画面, 48
温度インジケーター, 10, 31
音量の調整, 25

か

外形寸法, 38
開梱, 12
確定（ENTER）ボタン, 10, 11
画像メニュー, 45
　色合い, 47
　色温度, 46
　色の濃さ, 47
　カラーマトリクス, 46
　コントラスト, 45
　シャープネス, 46
　ブライト, 45
画面表示, 50
カラーマトリクス, 43, 46

き

キーボードテーブル, 6
キーボードテーブルの積載重量, 27
キーボードやスキャナーの設置, 18
起動画面, 50
キャスター, 6
吸気口, 7

く

クランプ位置, 53
クランプ幅, 53

け

言語選択, 50

こ

高音, 48
光源ランプの交換, 35
子画面, 48

コントラスト, 45
コントロールパネル, 10
コンピュータ入力, 52

し

自動調整ボタン, 10, 11, 24, 54
シネマモード, 50
しま模様, 51
シャープネス, 46
主電源スイッチ, 6, 10, 16
主電源の接続, 15
上部曲がり補正, 53
信号設定の詳細メニュー, 53
  クランプ位置, 53
  クランプ幅, 53
  上部曲がり補正, 53
  スクイーズ, 53
信号設定メニュー, 51
  コンピュータ入力, 52
  垂直位置, 51
  水平位置, 51
  ファイン, 51
  分周比, 51
信号判別, 50

す

垂直位置, 51
水平位置, 51
スクイーズ, 53
スピーカー, 6
スプラッシュスクリーン, 50

せ

制御コマンド構成
  アドレスコード, 57
  エンドコード, 57
  データコード, 57
  ファンクションコード, 57
製品仕様, 37
設置, 12
設置スペース, 39
設置メニュー, 49
  オートパワーオフ, 49
  オートパワーオン, 49
  台形補正, 49
  テスト信号, 49
  反転表示, 49
鮮明度, 46

そ

操作コマンド, 58

た

台形補正, 49
タッチパネル, 23
タッチパネルコントローラ, 6
タッチパネルコントローラの電源接続, 14
タッチパネル制御ソフトウエアのインストール, 64
  Windows 2000 へのインストール, 68
  Windows 98 へのインストール, 64
  Windows Me へのインストール, 72
  アンインストール, 74
  タッチパネルの調整, 75
タッチパネルのガラス, 27
タッチパネルの使用方法, 23
タッチパネルリセットスイッチ, 6, 10, 23
他の機器の接続方法, 19

ち

ちらつき, 51

て

低音, 48
データコード, 57
テーブル, 18
テスト信号, 49
電源インジケーター, 10, 31
電源タップ, 7, 15
電源タップの電源容量, 27
電源の入れ方, 21
電源の切り方, 22
電源ボタン, 10

と

登録されている信号形式, 56

は

排気ファン, 7
パソコン映像とビデオ映像の同時表示, 25
パソコン映像の調整のしかた, 54
　簡単な映像の調整のしかた, 54
　簡単な画面位置の調整のしかた, 54
　自動調整を行うときの注意, 54
　微調整のしかた, 55
パソコンから本機の機能を制御する, 57
　インターフェース, 57
　制御コマンド構成, 57
　制御シーケンス, 58
　操作コマンド, 58
　メニュー設定コマンド, 61
　読み出しコマンド, 61
　リモコンコマンド, 59
　ワーニングコマンド, 59
パソコンの接続方法, 16
バックカバー, 7
反転表示, 49

ふ

ファイン, 51
ファンクションコード, 57
ブライト, 45
フロント端子, 8
フロント端子部, 6
分周比, 51

ほ

方向ボタン, 10, 11
ぼけ, 51
本体端子部, 8

ま

マイクの接続, 26

め

メニュー, 40
　オーディオメニュー, 48
　オプションメニュー, 50
　画像メニュー, 45
　基本操作, 41
　信号設定の詳細メニュー, 53
　信号設定メニュー, 51
　設置メニュー, 49
　設定のしかた, 42
メニュー位置, 50
メニュー設定コマンド, 61
メニューボタン, 10, 11

よ

読み出しコマンド, 61

ら

ランプインジケーター, 10, 31

り

リア端子, 9
リア端子部, 7
リモコンコマンド, 59
履歴データ, 59

ろ

ロック付キャスター, 6

わ

ワーニングコマンド, 59
ワイヤレスリモコン, 11
　使用範囲, 26
ワイヤレスリモコンの取り扱い, 13
　使用上のご注意, 14
　電池の入れ方, 13